

No. 10

経済技術協力国別資料シリーズ

セネガル

RÉPUBLIQUE DU SÉNÉGAL

1984年3月

国際協力事業団
企画部地域課

526
36
PLC

地 域

84-6

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 29	526
	36
登録No. 10632	PLC

作成にあたって

この経済技術協力国別資料シリーズは、我が国を始め、主要援助供与諸国及び国際機関が、技術協力、経済協力として1981年以後実施済の、あるいは実施中のプロジェクトを調査しまとめたものです。

それぞれの被援助国に対し、各援助供与国及び各援助機関が、どのような方針に基いて援助を実施してきたかを明らかにしようと試みました。また、被援助国側が各援助供与国や国際機関別にどのような援助のあり方を期待しているかを探り、ひいては我が国の援助の方向性を考える目的の下に本シリーズを作成しました。

作成にあたっては、外務省、海外経済協力基金、JICA 海外事務所、専門家等の大勢の方々の御協力を得ました。ここに、本シリーズ作成に御協力下さった皆様に改めて謝意を申し上げますと共に、本誌が関係各位の業務の一助になることを願って止みません。

昭和59年3月

国際協力事業団

企画部長

堀内伸介

JICA LIBRARY



1033415[9]

● 国際機関名略称

- AFDB - African Development Bank
- AsDB - Asian Development Bank
- EEC - European Economic Community
- FAO - Food and Agriculture Organization
- IBRD - International Bank for Reconstruction and Development
- IDA - International Development Association
- IEA - International Energy Agency
- IFAD - International Fund for Agricultural Development
- ILO - International Labour Organization
- ITC - International Trade Centre
- ITU - International Telecommunication Union
- OECD - Organization for Economic Cooperation and Development
- OPEC - Organization of Petroleum Exporting Countries
- UNCTAD - United Nations Conference on Trade and Development
- UNDTCD - United Nations Department of Technical Cooperation for Development
- UNDP - United Nations Development Program
- UNESCO - United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
- UNFPA - United Nations Fund for Population Activities
- UNHCR - Office of the United Nations High Commissioner for Refugees
- UNICEF - United Nations Children's Fund
- UNIDO - United Nations Industrial Development Organization
- WFP - World Food Program
- WHO - World Health Organization
- WMO - World Meteorological Organization

「セネガル」に対する 経済・技術協力の概要

目次

1 経済・社会開発計画概要

- 1-1 対象国の概要/1
- 1-2 開発計画概要/3
- 1-3 開発予算/4

2 経済・技術協力の推移

- 2-1 1970年代における援助実績の推移/5
- 2-2 最近の動向(1981, 1982年実績)/5

3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

- 3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴/9
- 3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要/16

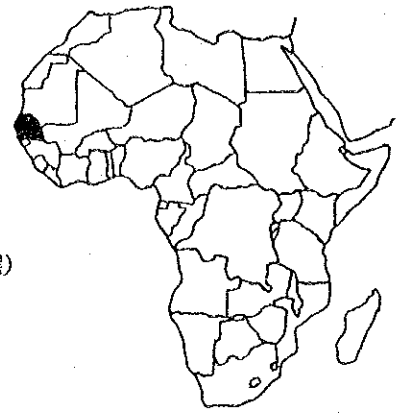
4 我が国の経済・技術協力実施状況

- 4-1 我が国の援助の特徴/24
- 4-2 分野別経済・技術協力実施状況/27

1 経済・社会開発計画概要

1-1 セネガルの概要

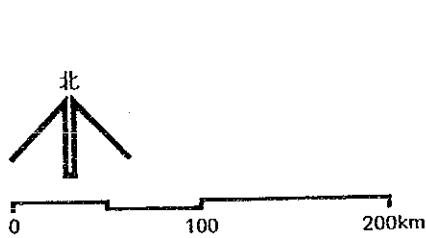
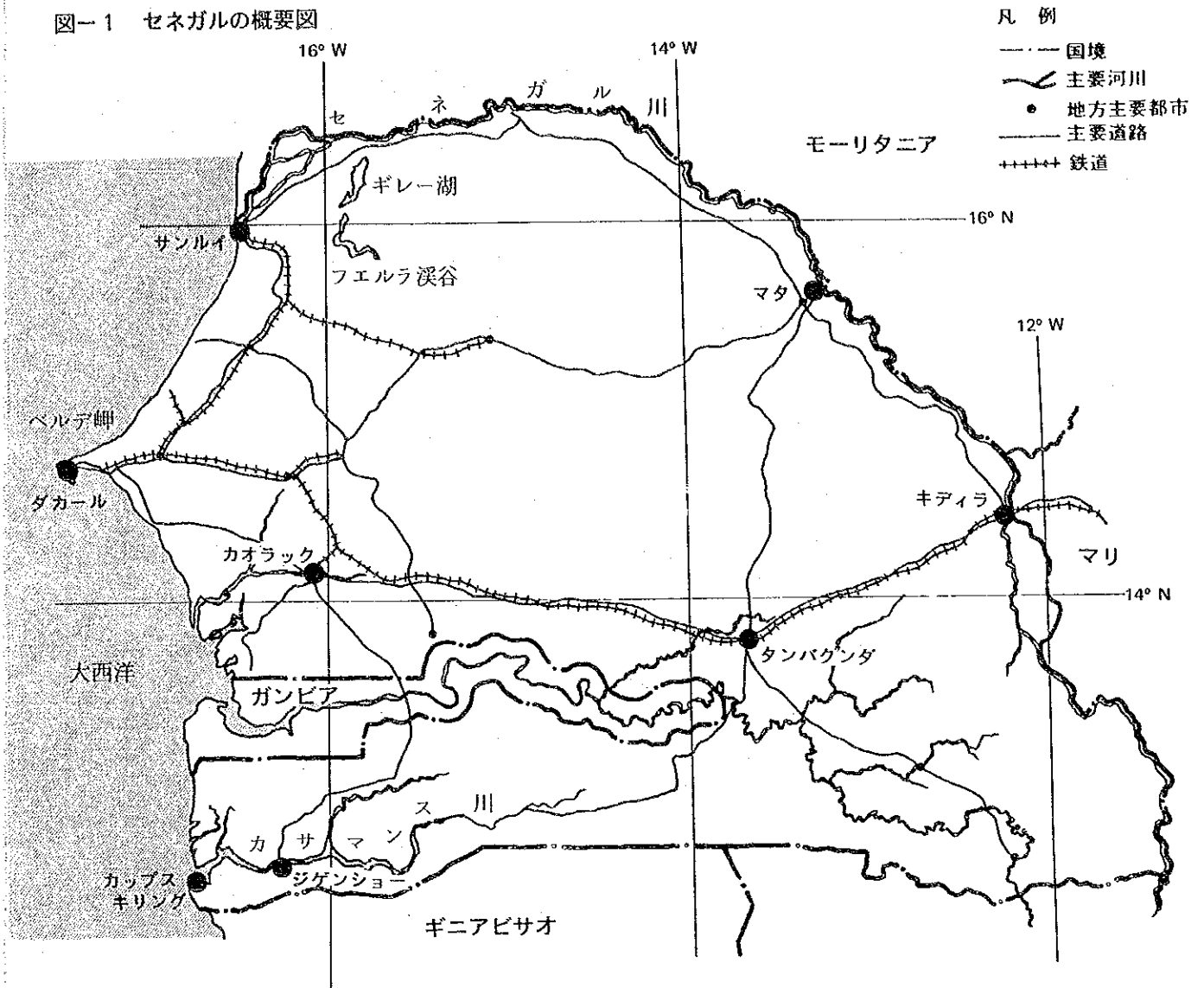
- 面積 196.2千km² (日本の約半分)
- 人口 (1982年) 5,970,000人
- 政体 共和制
元首: アブドゥ・ディオフ大統領 (1981年1月就任)(1983年3月再選)
- 宗教 イスラム教 (85%), キリスト教 (5%), その他は部族信仰
- 言語 公用語はフランス語。部族語はウォロフ語が主流を占める。
- 部族 ウォロフ族 (35%), フラニ族 (17%), セレル族 (16%), など。
- 教育 6~14才までが義務教育。
大学は1957年創立のダカール大学に学生13人。
- 貿易 (1981年) 輸出 416百万ドル
フランス, コートジボアール, マリ, モーリタニア
輸入 1,035百万ドル
フランス, アメリカ, コートジボアール, 西ドイツ
- 通貨準備高 (1981年) 20百万ドル
- G N P (1982年) 2,414百万ドル (401ドル/人)
- 援助の要請 計画協力省が各省庁より提出された援助要請案件についてその下部機関であるSONED (Société Nationale D'Etude pour Le Développement) 等を通じてフィージビリティ, 費用等の調査を行い, 取りまとめを行う。



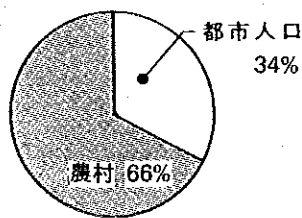
セネガルは、1958年9月にフランス共同体に加盟し、同年11月、セネガル共和国宣言を行った。翌1959年にはマリと組み「マリ連邦」として独立し、さらに1960年にマリ連邦を脱退し、セネガルとして独立した。初代サンゴール大統領は、60年代、70年代を通じて、一貫して対フランス協調を基盤とした非同盟中立政策をとり、81年に就任したディオフ大統領も同路線の踏襲を表明し、1日宗主国フランスは、現在もセネガルのあらゆる分野において大きな影響力を有している。

セネガルの主要輸出品は落花生、燐鉱石、石油製品、魚介類等である。1976年には、我が国と貿易取極協定が結ばれた。我が国との経済技術協力の面でも毎年実績を着実に積み上げつつある。

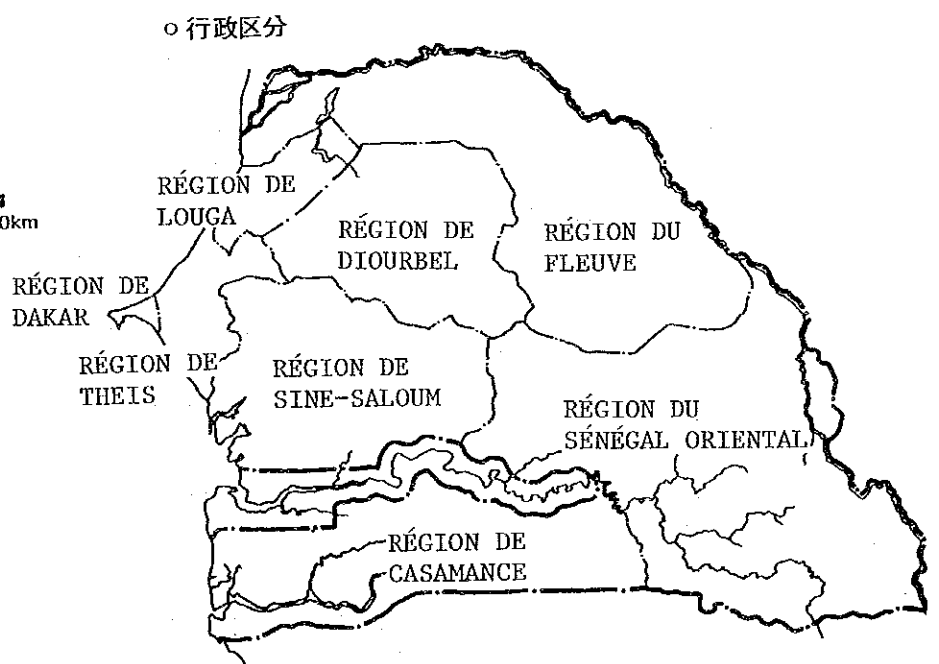
図-1 セネガルの概要図



都市化(1981)



(出典：世界開発報告/世銀1983)



1-2 開発計画の概要

1-2-1 既往の開発計画

- 第1次4カ年計画 (1961~1965)
- 第2次4カ年計画 (1965~1969)
- 第3次4カ年計画 (1969~1973)
- 第4次4カ年計画 (1973~1977)
- 第5次4カ年計画 (1977~1981)

過去20年間に上記5つの4カ年計画を実施したが、その間の経済成長は遅々としたもので、1959~1980年の実質GDP平均成長率は2.2%と極めて低かった。

1-2-2 現行の開発計画 (第6次経済社会4カ年計画, 1981~1985)

(1) 主要目標

第6次4カ年計画は、1980年から始まった経済財政再建計画をベースに作成されたものであり、次の目標を掲げている。

- ① 干害による農業生産の不振と貿易・財政収支の赤字に悩まされているセネガル経済の再建
- ② 1人当たり国民所得を年率1%で上昇させる。
- ③ 計画期間中の実質GDP成長率を年平均3.5%とする。内訳は第1次産業、第2次産業、第3次産業で、それぞれ3.4%、5.0%、2.8%であり、第2次産業の成長率目標が高い(表-1)。
- ④ 輸出をGDP成長率と同じ年率3.5%で拡大し、輸入を年率1.6%の割合で削減することにより貿易収支の赤字幅を1980年のGDP比16%から1985年にはGDP比5%に縮小する。

表-1 GDPの成長率とその構成

(単位: %)

セクター	年平均実質GDP成長率 (1981-1985)	GDPの構成	
		第5次計画平均 (1977-1980)	第6次計画平均 (1981-1985)
第1次産業	3.4	28.1	31.3
第2次産業	5.0	26.5	28.3
第3次産業	2.8	45.4	40.4
GDP計	3.5	100.0	100.0

(出典: Ministère du Plan et de la Cooperation)

(2) 重点政策

先行する第5次4カ年計画と同様に直接生産部門(農村開発、工業開発、及び観光)と訓練(特に技術及び職業訓練)に重点が行われている。

1-2-3 分野別の政策内容

分野別の政策内容は次のとおりである。

分野	政策内容
直接生産部門	1) 農村開発 ① 多角的農業による食糧不足の段階的解消 ② かんがいネットワークの拡張による作物生産の安定 ③ 農業協同組合の促進 ④ 国土砂漠化の防止
	2) 工業開発 ① 国内エネルギー資源の開発によるエネルギー輸入の削減 ② 民間投資奨励を通じた工業（特に中小工業）開発 ③ 工業投資の地方分散化
	3) 観光開発 ① 観光事業の地方分散化、多様化、再組織化 ② 観光事業に関連した職業訓練の充実 ③ 必要な観光インフラストラクチャの整備
間接生産部門	1) 運輸・通信 ① 既存、施設のメンテナンス ② 地方開発および生産支援を目的とする事業を優先する。
	2) 社会 ① 技術訓練、職業訓練、農村指導のための機関の整備 ② 国家発展を支える国民の健康と身体的条件の改善 ③ 環境、衛生、水道、電気、住宅の改善を通じた国民生活の質の向上
	3) 調査研究 セネラル経済が直面している経済的、技術的、社会的問題の解決のための研究調査を優先する。
国家財政	開発予算のための特別財源を設け、計画の実施が経済変動の影響を余り受けないようにする。
貿易	輸出—輸出手続の簡素化、関税インセンティブの導入、輸出信用・保険制度の確立および海上輸送力の改善 輸入—輸入品の価格、量、質のモニタリング
対外債務	① 中小規模の借入に債務選択の比重を移す。6次計画以降は公共部門のプロジェクトに対して商業ベースの借入は行わない。政府保証は、援助手続上どうしても政府保証が必要とされる国際機関からの開発援助を受け入れる場合のみに与えられる。 ② 借款契約、デイスパース、債務返済に関する管理をより厳密にする。
雇用	① 機械による労働力の部分代替を法的に規制することにより、労働力の最大活用を図る。 ② 都市と農村における賃金および非賃金所得差の是正を図る。

1-3 開発予算

計画期間中の総投資額は4,638億CFAフランであり、そのうち96%の4,474億CFAフランが国家プロジェクトに、残り4%が地方プロジェクトに使用される。〈表-2(1)〉

開発投資のための資金の75%は外国に依存する計画となっている。〈図-2〉

投資額の部門別内訳をみると直接生産部門に重点を置くという政府の方針を反映して、第5次計画の投資実績と比較すると、第1次、第2次産業に対する投資シェアが拡大している。なお、当初の投資額は1983年6月に自国の経済事情および国際経済環境の見直しを行い、増額修正をされている。〈表-2(2)〉

表-2(1) 投資スケジュール

	1981/1982	1982/1983	1983/1984	1984/1985	計
国家プロジェクト	122,869	136,314	108,854	79,363	447,404
地方プロジェクト	4,834	4,248	3,851	3,530	16,443
計	127,703	140,566	112,685	82,893	463,847

(出典: Ministère du Plan de la Coopération)

図-2 資金調達計画

地方政府予算		
国内資金 25%	国家予算	48,030
	民間投資	16,443
外国資金 75%	既定分	158,133
	未定分	190,786
合計		463,847

単位: 百万CFAフラン

(出典: Ministère du Plan de la Coopération)

表-2(2) 部門別投資額

	第5次計画実績 (1977-1981)		第6次計画目標 (1981-1985)			
	10億CFAフラン	%	当初案		修正案	
			10億CFAフラン	%	10億CFAフラン	%
第1次産業	65.6	22.7	106.6	23.0	145.1	21.2
第2次産業	76.5	26.5	151.8	32.7	284.5	41.6
第3次産業	70.0	24.2	99.3	21.4	117.0	17.1
社会部門	67.4	23.3	90.0	9.3	120.5	17.6
地方プロジェクト	9.5	3.3	16.3	3.6	16.3	2.4
計	289.0	100.0	464.0	100.0	683.4	100.0

(出典: Ministère du Plan de la Coopération 及び通商広報 S. 58.11.5)

2 経済・技術協力の推移

2-1 1970年代における援助実績の推移

セネガルに対する政府開発援助活動の特色は以下のとおりである。

- (1) 70年代における援助額は、全体として増加する傾向にあるが、国際機関およびOPEC諸国の援助額に変動が大きい。特に70年代後半よりODA総額（純額ベース、以下同じ）は、増減を繰り返している。70年代におけるODA総額の急増は、74年と78、79年にみられるが、前者は主にOPEC諸国、後者はEECの援助増によるものである。79年の援助額は、74年の2.2倍に相当する307.4百万ドルに達している。（図-3）
- (2) 援助活動を形態別にみると、70年代初期は、贈与の比率がODA総額の90%弱を占めていたが、以後徐々に借款の割合が高くなり、79年には、ほぼ1:1の水準となっている。贈与の主体は、70年代中期より無償資金協力から技術協力に移行し、79年以降は、技術協力が60%前後を占めている。（図-4）
- (3) セネガルに対する援助活動は、国際機関（主にEEC）、OPEC諸国による変動はあるものの、宗旧主国であるフランスの援助額が安定して高いシェアを占めており、歴代政府のフランス協調路線がうかがえる。（図-5）

2-2 最近の動向

80年代に入ってから対セネガルODA総額は、80年に前年比14.4%の落ち込みを示し、81年には52.2%の増加、そして翌82年には再び29.9%減少して80年と同水準の280.5百万ドルと年変動が激しい。この80年代初期におけるODAの変動は、主に国際機関の借款による援助変動によるものであり、贈与は80年から横ばい～漸減の傾向にある。

図-6および表3、4に1981年、82年の援助動向を示した。ODA総額では、81年400.4百万ドル、82年280.5百万ドルと119.9百万ドルの減少となっているが、そのうちの80.7%に当たる96.7百万ドルは、国際機関およびOPEC諸国からの借款援助の減少である。この2年間では、フランス、アメリカおよびEECの主要援助国、機関別のシェアに大きな変化はみられない。

セネガルに対する政府開発援助（ODA）額の経年推移（1971～1982年）

図-3 援助主体別ODA推移

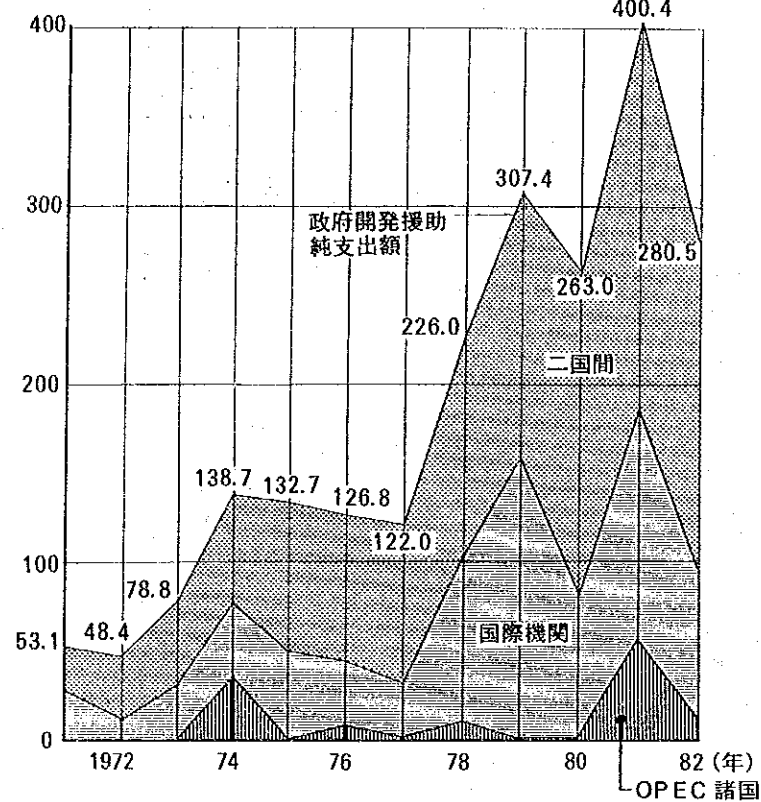


図-5 主要援助国・国際機関別ODA推移
〈政府開発援助（ODA）純支出額ベース〉
単位：百万ドル

セネガルに対する援助活動は、旧宗主国であるフランス主導型で行われており、概ねODA総額の30～50%は、フランスに依存している。セネガルにおける援助活動のもうひとつの特色は、年別の変動は大きいものの、EECによる援助額が、他の国際機関のそれを上回っていることであり、特に1971年および1979年には、フランスを抜いて第1位の援助機関となっている。

これまでの対セネガルODAは、ディウフ首相が大統領に就任して、セネガル川流域開発に着手した1981年がピークであり、同年の援助額は、フランス、EEC、およびOPEC諸国の主要援助国、機関で58.2%が占められている。

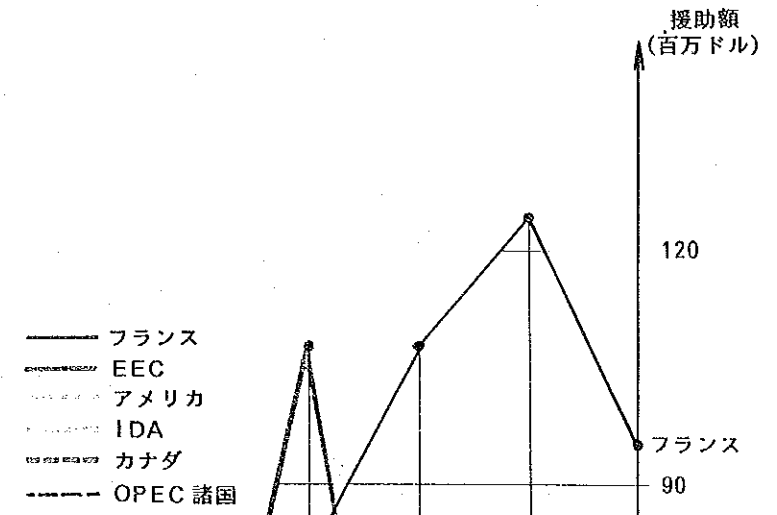
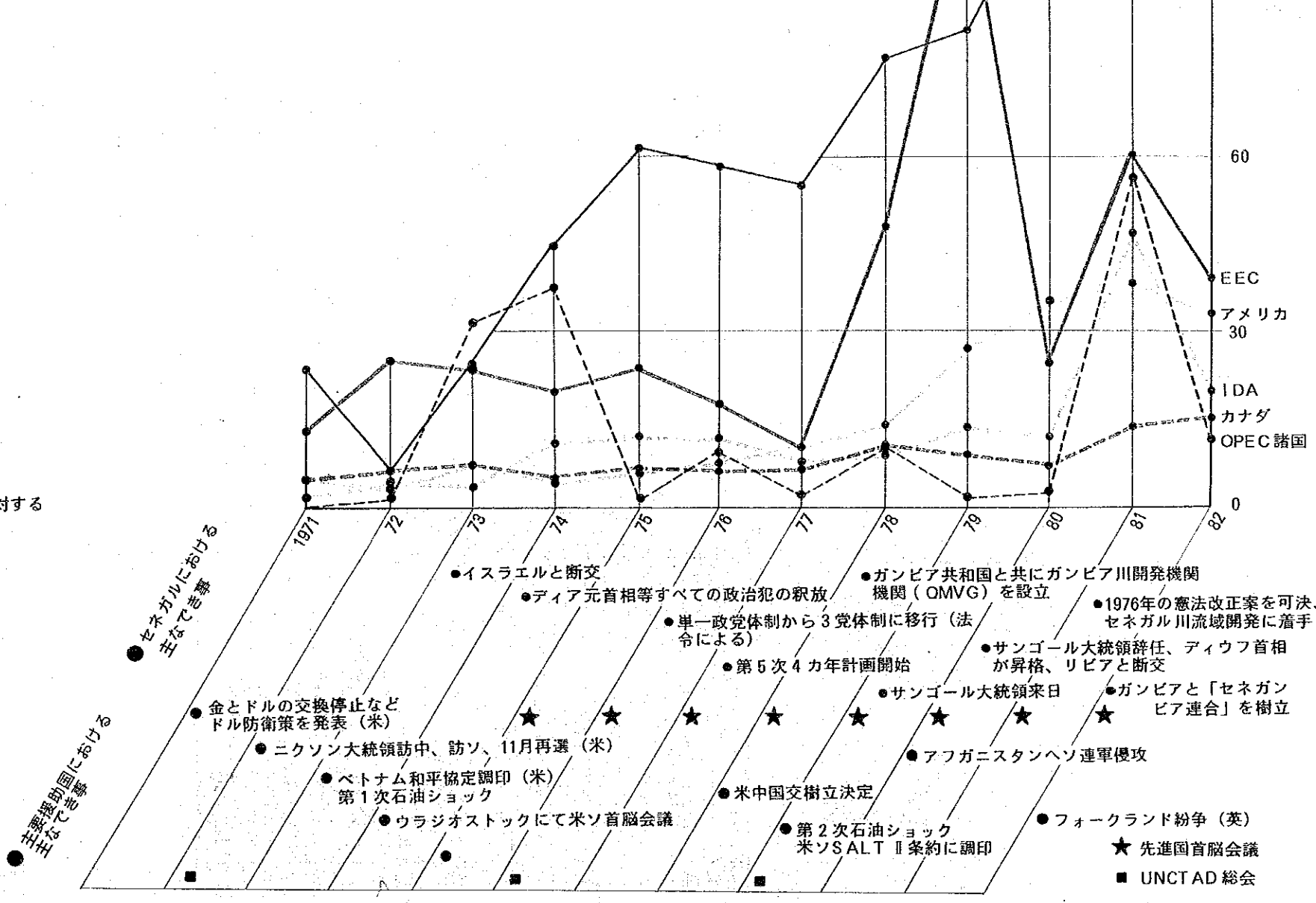
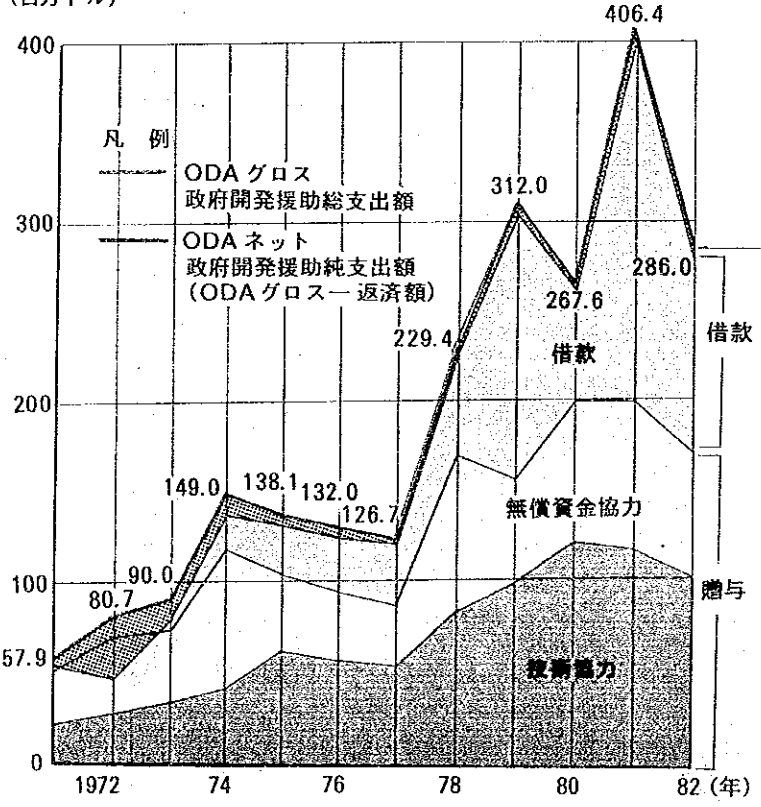
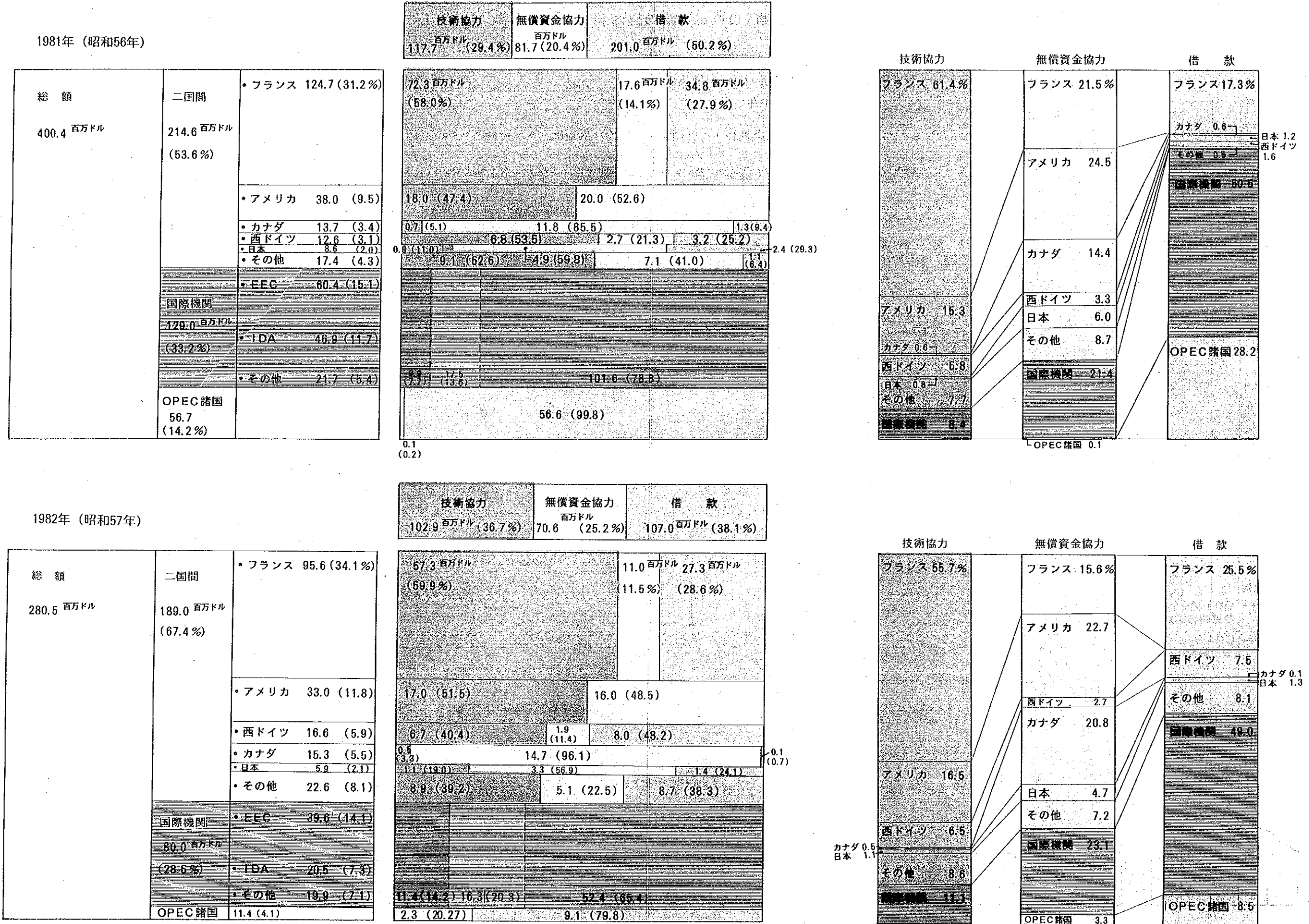


図-4 援助形態別ODA推移



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1978, 82, 84)

図一 6 主要援助国・国際機関による対セネガル政府開発援助（ODA）の実績



(出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1984)

表一3 1981年対セネガル政府開発援助（ODA）実績総括表

援 機	助 国 関	技 術 協 力		無 償 資 金 協 力		借 款		政 府 開 発 援 助 総 額	
		金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)
二 国 間 援 助	フランス	72.3	(61.4)	17.6	(21.5)	34.8	(17.3)	124.7	(31.2)
	アメリカ	18.0	(15.3)	20.0	(24.5)	—	(—)	38.0	(9.5)
	カナダ	0.7	(0.6)	11.8	(14.4)	1.3	(0.6)	13.7	(3.4)
	西ドイツ	6.8	(5.8)	2.7	(3.3)	3.2	(1.6)	12.6	(3.1)
	日 本	0.9	(0.8)	4.9	(6.0)	2.4	(1.2)	8.2	(2.0)
	そ の 他	9.1	(7.7)	7.1	(8.7)	1.1	(0.5)	17.4	(4.3)
	(小計)	107.8	(91.6)	64.1	(78.5)	42.8	(21.3)	214.6	(53.6)
国 際 機 関	E E C	—	(—)	—	(—)	—	(—)	60.4	(15.1)
	I D A	—	(—)	—	(—)	—	(—)	46.9	(11.7)
	そ の 他	—	(—)	—	(—)	—	(—)	21.7	(5.4)
	(小計)	9.9	(8.4)	17.5	(21.4)	101.6	(50.5)	129.0	(32.2)
O P E C 諸 国	—	(—)	0.1	(0.1)	56.6	(28.2)	56.7	(14.2)	
合 計	117.7	(100.0)	81.7	(100.0)	201.0	(100.0)	400.4	(100.0)	

表一4 1982年対セネガル政府開発援助（ODA）実績総括表

援 機	助 国 関	技 術 協 力		無 償 資 金 協 力		借 款		政 府 開 発 援 助 総 額	
		金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)
二 国 間 援 助	フランス	57.3	(55.7)	11.0	(15.6)	27.3	(25.5)	95.6	(34.1)
	アメリカ	17.0	(16.5)	16.0	(22.7)	—	(—)	33.0	(11.8)
	西ドイツ	6.7	(6.5)	1.9	(2.7)	8.0	(7.5)	16.6	(5.9)
	カナダ	0.5	(0.5)	14.7	(20.8)	0.1	(0.1)	15.3	(5.5)
	日 本	1.1	(1.1)	3.3	(4.7)	1.4	(1.3)	5.9	(2.1)
	そ の 他	8.9	(8.6)	5.1	(7.2)	8.7	(8.1)	22.6	(8.1)
	(小計)	91.5	(88.9)	52.0	(73.7)	45.5	(42.5)	189.0	(67.4)
国 際 機 関	E E C	—	(—)	—	(—)	—	(—)	39.6	(14.1)
	I D A	—	(—)	—	(—)	—	(—)	20.5	(7.5)
	そ の 他	—	(—)	—	(—)	—	(—)	19.9	(7.1)
	(小計)	11.4	(11.1)	16.3	(23.1)	52.4	(49.0)	80.0	(28.5)
O P E C 諸 国	—	(—)	2.3	(3.3)	9.1	(8.5)	11.4	(4.1)	
合 計	102.9	(100.0)	70.6	(100.0)	107.0	(100.0)	280.5	(100.0)	

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。

3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴

無償（贈与），有償（借款）の援助形態別に各国の占める割合を示した図-7より，次のことが指摘できる。

- 1) 贈与では，フランスの援助比率が高いのが目立つが，経年的にみるとそのシェアは，若干低下しており82年では39.4%となっている。フランスにかわって近年アメリカおよびその他の二国間援助国（カナダ，西ドイツ，ベルギー等）の比率が高くなっており，援助主体は，多様化する傾向にある。
- 2) 借款では，国際機関の援助が中心となっている。二国間援助では，70年代中期にフランス，西ドイツ，カナダ等の援助比率が接近していたものの，近年においては，フランスの比率が他の援助国のそれを大きく上回っている。
- 3) OPEC諸国の援助は，74年の贈与，76年の借款にみられるように単発的に行われ，それぞれ高いシェアを占めている。図には示されていないが，81年の借款では，56.6百万ドルを供与し，28.8%のシェアとなっている。

図-8に1981年の分野別援助内訳を示した。金額ベースでみると，無償援助では，計画・行政分野が47.5%，借款では商業・観光分野が35.7%と目立つが，両者とも案件数は少ない。一方，農林・水産分野は無償でも，借款でも，重点が置かれており，金額，件数ともに多くなっている。また，借款では鉱工業・エネルギー分野の案件数が多い。

主要援助国，国際機関別にみた援助の特徴を表-5に整理した。

図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴（1972～1982年）

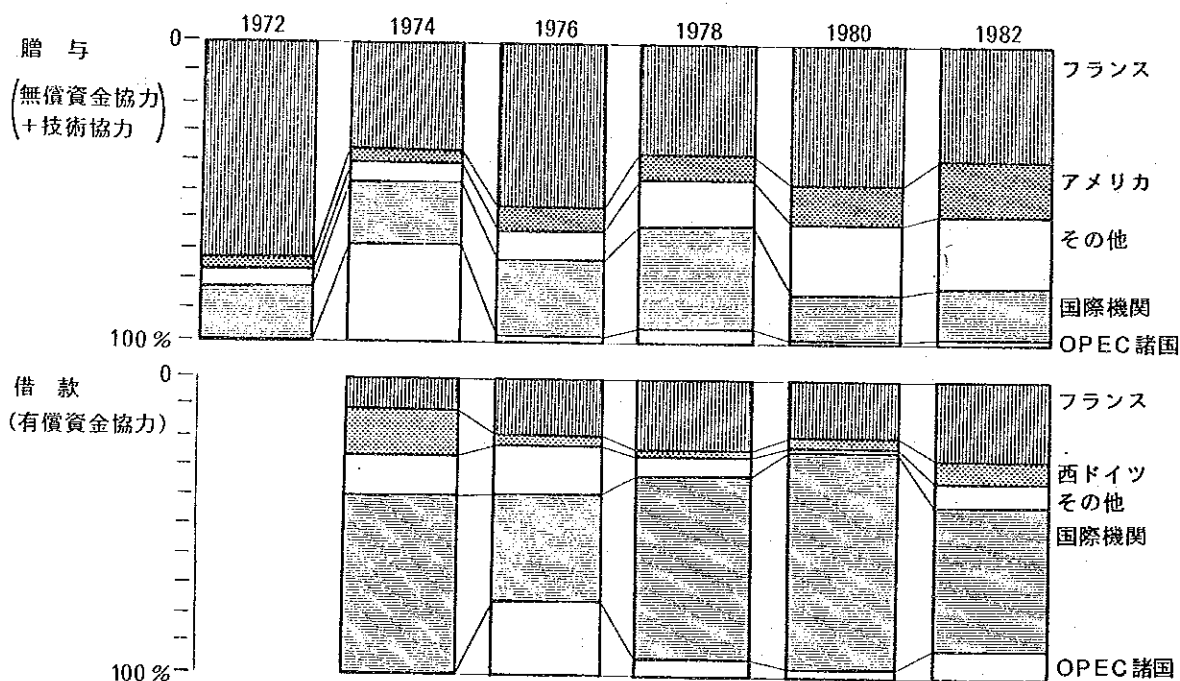
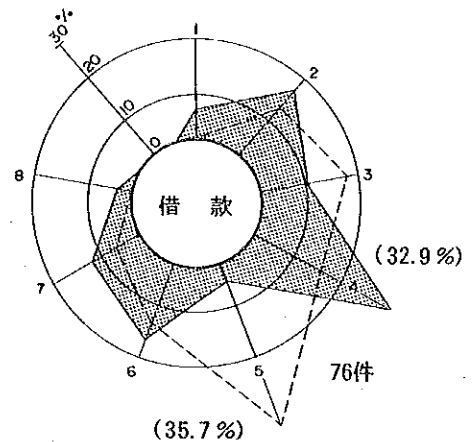
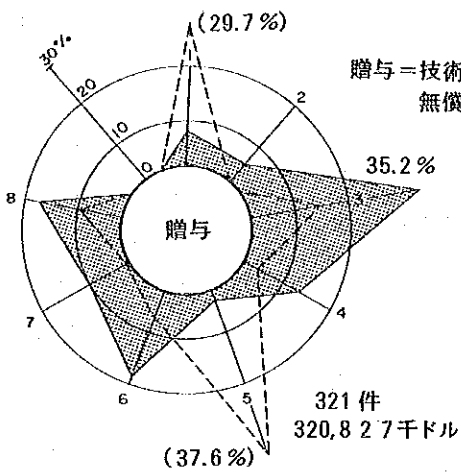
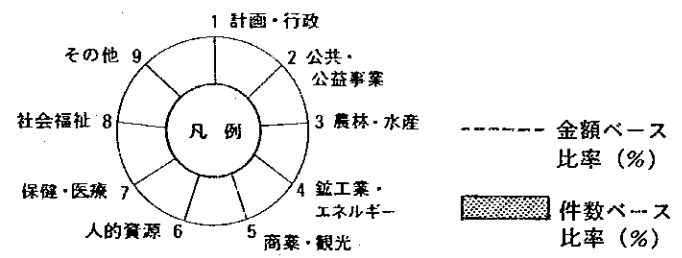
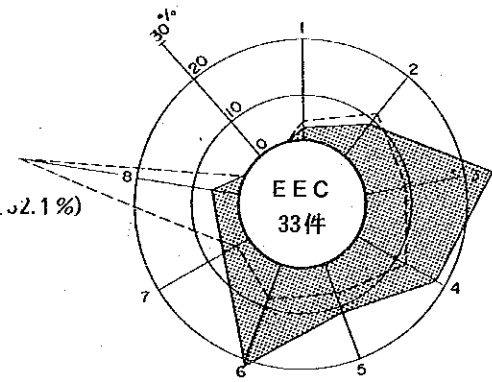
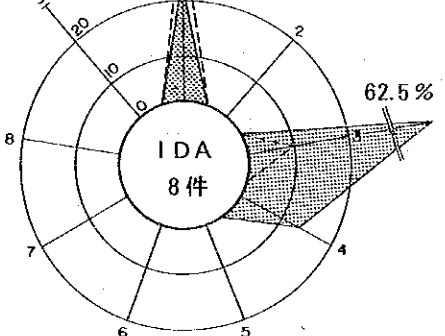
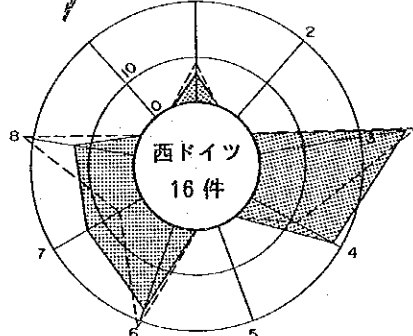
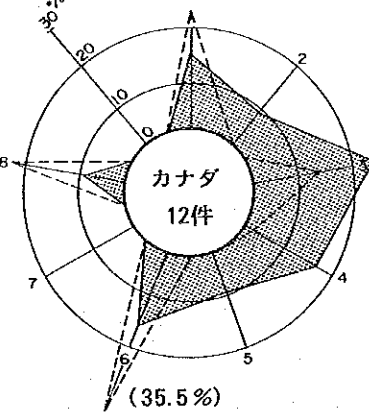
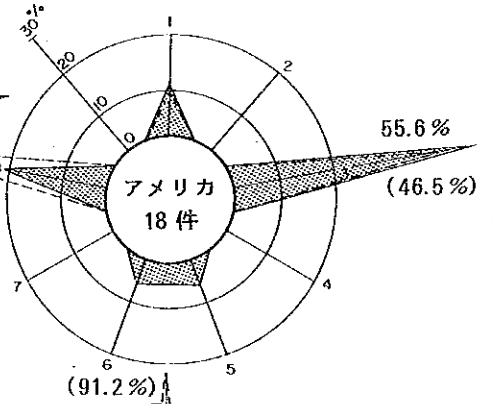
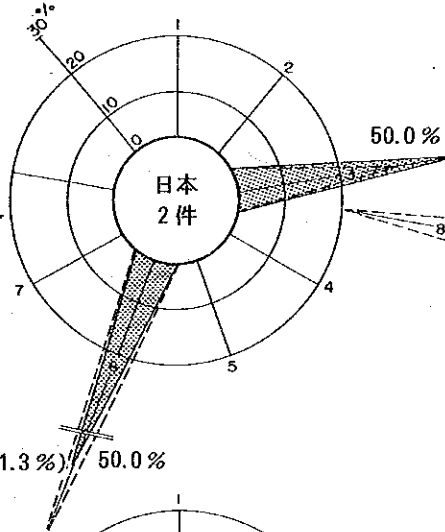
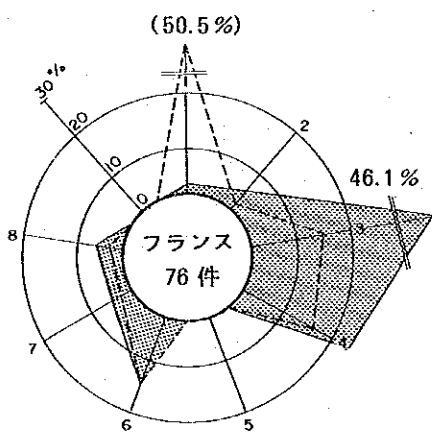


図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴 (1981年)

援助形態別合計



技術協力プロジェクトにおける各国・機関別分野配分



出典：RAPPORT ANNUEL SUR L'ASSISTANCE AU DEVELOPPEMENT 1981, REPUBLIQUE DU SENEGAL ; UNDP, DAKAR

但し日本については JICA 資料による。 セネガル 10

表一5 主要援助国・国際機関別援助の特徴

国・機関名	援助額：百万ドル (贈与比率：%)		援助形態
	1981	1982	
フランス	124.7 (72.1)	95.6 (71.4)	贈与比率は、二国間援助の平均値(81年80.1%、82年75.9%)よりやや低い。援助額自体が大きいため贈与においても対セネガルのODA総額に占める比率は高く、81年では45.1%、82年では39.4%に達している。 贈与の内訳は、技術協力が主で80%強となっている。
U S A	38.0 (100.0)	33.0 (100.0)	援助形態は70年代～80年代初期を通じすべて贈与となっている。 近年の贈与内訳は、技術協力：無償資金協力でほぼ1：1である。
西ドイツ	12.6 (74.8)	16.6 (51.8)	81年～82年における増額は、全て有償資金協力(借款)によるものであり、他の援助国に較べると贈与比率が低いのが特徴である。
E E C	60.4	39.6	1981年のUNDP年次報告書によると、同年の技術協力の割合は27.1%であり、無償および有償の資金協力の比率が高い。
I D A	46.9	20.5	1981年のUNDP年次報告書によると、81年は技術協力の割合が高く73.7%を占める。
O P E C 諸 国	56.7 (0.2)	11.4 (20.2)	81年、82年には有償援助が多く、贈与比率は低くなっているが、70年代からの援助形態には年別の変動が大きく、経年的な傾向はみられない。

援助実績 (①) と1981年の援助分野別特徴

① 旧宗主国であり、二国間援助では1970年代～80年代初期において、一貫して第1位の援助国となっている。援助額は73年および77、78年に若干減額された以外は、81年まではほぼ直線的な増加を示している。ただし、「セネガンビア連合」が樹立された82年には、E E C、I D A、O P E C諸国と同様に大幅に減額された（前年比、23.3%減）。

援助形態は、70年代前半では90%以上贈与であったが、近年では徐々に借款による援助比率が高くなり、贈与比率は70%程度となっている。

② 主な援助形態である技術協力では計画・行政分野の比率が高いが、これは26.3百万ドルのプロジェクト（詳細は不明）が行われたことによる。他に金額が大きく目立つプロジェクト（10百万ドル前後）には、落花生種子分野プログラム、磷酸工場設立プロジェクト、および Diama ダムプロジェクト等がある。

① 70年代中期まで3～7百万ドルの援助額であったが、以後徐々に増額され特に70年代後期に、78年14百万ドル、79年27百万ドル、80年36百万ドルと急増している。

すべて贈与による援助であり、近年援助額は横ばいとなっているものの対セネガルの贈与総額に占める割合は20%弱でフランスに次いで高い。

② 農林・水産分野および社会福祉分野のプロジェクトが金額、件数とも多く、それぞれ援助額の35%以上を占める。大型案件としては、カトリック救援を目的とした食糧援助7.2百万ドル等がある。

① 70年代後期より増額され、82年には二国間援助ではフランス、アメリカに次ぐ第3位の援助国となったが O D A総額に占める比率は5.9%と低い。ただし、二国間の借款援助では82年8.0百万ドル（O D A総額の7.5%、二国間では17.6%）とフランスに次ぐ。

② 無償では、農林・水産分野、有償では、鉱工業・エネルギー分野が主である。

① セネガルの第5次4カ年計画が開始された1977年より援助額が急増し、79年には108.5百万ドルと対セネガルO D A総額の35.3%を供与し、フランスを抜いて第1位の援助機関となった。しかしながら、翌80年には24.2百万ドルと減額し、以後81年60.4百万ドル、82年39.6百万ドルと援助額の変動が激しい。

② 技術協力では、社会福祉分野（食糧援助等）、借款では STABEX 制度（一次産品輸出所得安定比制度）に対する援助（商業・観光分野）が大きい。

① 70年代を通じて10数百万ドルの援助水準であったが、81年に約4倍の増額があり46.9百万ドルとなった。ただし、翌82年には他の主要援助国、機関同様に援助額を減じている。

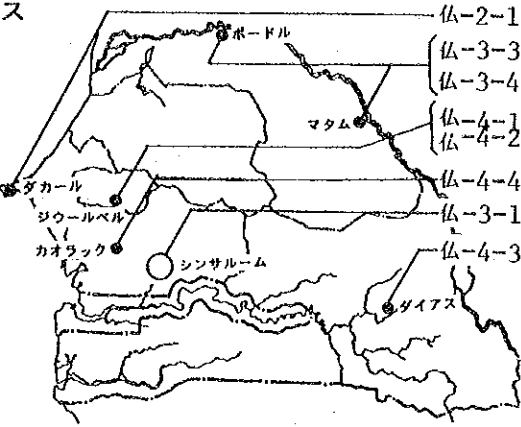
② 計画・行政分野の経済調整プロジェクトが30百万ドルと大きく、技術協力の84.1%を占める。

過去2回の単発的な援助が特徴であり、74年には無償資金協力を主体にO D A総額の27.5%、また81年には有償資金協力を主体に14.2%を占めた。

図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 (1981~82年)

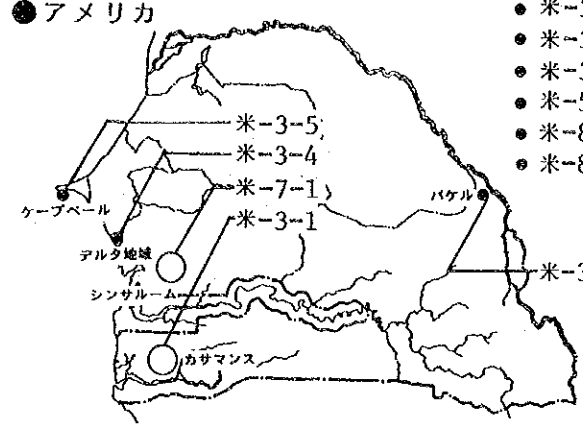
● フランス

- 仏-1-1
- 仏-2-2
- 仏-2-3
- 仏-3-2
- 仏-3-5
- 仏-3-6



● アメリカ

- 米-3-3
- 米-3-6
- 米-3-7
- 米-5-1
- 米-8-1
- 米-8-2



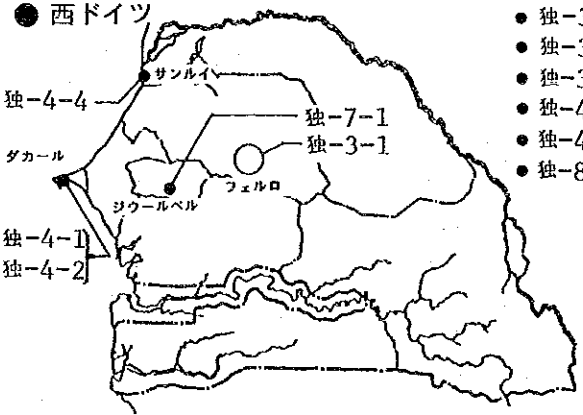
● カナダ

- カ-2-1
- カ-3-1



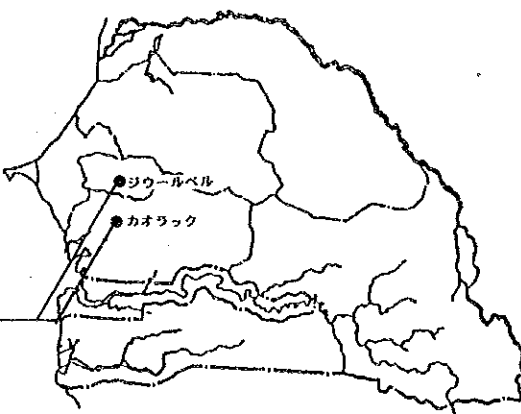
● 西ドイツ

- 独-3-2
- 独-3-3
- 独-3-4
- 独-4-3
- 独-4-5
- 独-8-1



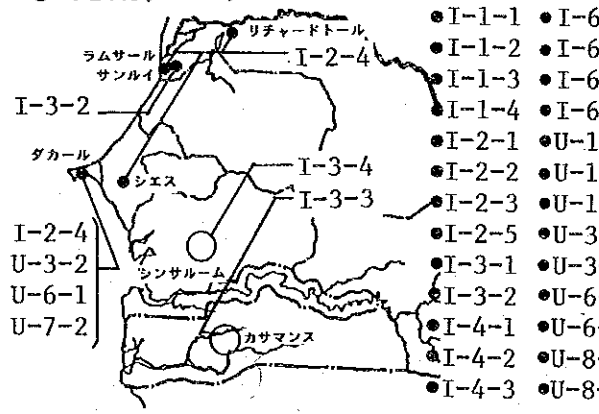
● EEC

- E-3-1
- E-3-2
- E-4-1
- E-4-2
- E-4-3
- E-5-1
- E-6-1



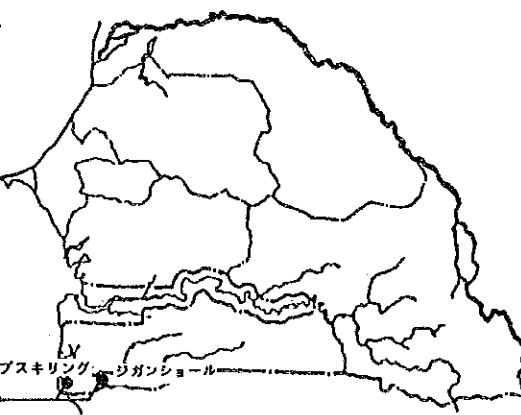
● IBRD/IDA/UNDP

- I-1-1
- I-1-2
- I-1-3
- I-1-4
- I-2-1
- I-2-2
- I-2-3
- I-2-5
- I-3-1
- I-3-2
- I-3-3
- I-3-4
- I-4-1
- I-4-2
- I-4-3
- I-6-1
- I-6-2
- I-6-3
- I-6-4
- U-1-1
- U-1-2
- U-1-3
- U-3-1
- U-3-3
- U-6-3
- U-6-4
- U-8-1
- U-8-2



● その他

- そ-1-1
- そ-3-1
- そ-4-1
- そ-4-2
- そ-4-3
- そ-5-1
- そ-7-1
- そ-8-1



● 日本

- 3-2
- 4-1
- 8-1

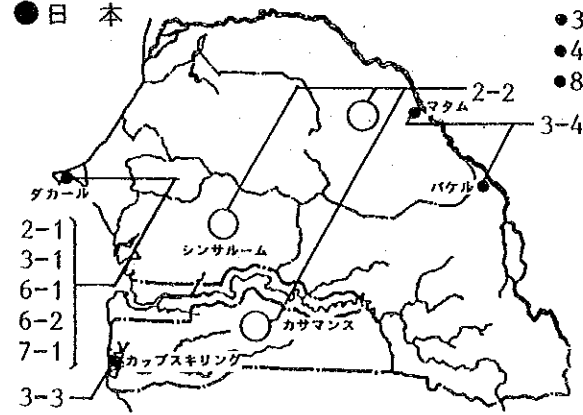


図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図 (日本を除く主要援助国・国際機関)
(1981~82年)

凡例 A-1-1 ● プロジェクト名
 ┌ 分野内通し番号
 └ 分野区分 (巻末表参照)
 主要国・国際機関略称
 仏-フランス E-EEC
 米-アメリカ I-IBRD/IDA
 カ-カナダ U-UNDP
 独-西ドイツ そ-その他

● 広域プロジェクト等

- 仏-1-1 Assistance technique
- 仏-2-2 Régie des chemins de Fer Sénégalais (RCFS)
- 仏-2-3 Programme investissement SOTRAC
- 仏-3-2 Aménagement des cuvettes de Tellel et grande Digue (SAED)
- 仏-3-5 Aménagement des cuvettes de Ndombo-Thiago
- 仏-3-6 Programme sectoriel "Semences d'arachides" I & II
- 米-3-3 Production de bois chauffé
- 米-3-6 Projet de la SODESP pour le développement de l'élevage
- 米-3-7 Production Céréalière Phase II
- 米-5-1 Financement des projets de développement
- 米-8-1 Aide alimentaire
- 米-8-2 Aide alimentaire d'urgence et transport de médicaments
- カ-2-1 OMVS (Organisation pour la Mise en Valeur du Fleuve Sénégal) Etude
- カ-3-1 Pêche artisanale (CAPAS)
- 独-3-2 Projet maïs
- 独-3-3 Reboisement de la zone Nord
- 独-3-4 Abattoirs régionaux
- 独-4-3 Remise en état de l'usine de traitement des eaux de Gnith
- 独-4-5 Projet Energie Solaire
- 独-8-1 Projet stock de sécurité
- E-3-1 Développement de la zone cotonnière
- E-3-2 Poursuite de l'opération arachide de bouche
- E-4-1 Extension usine SOCOCIM
- E-4-2 Formation du capital d'ICS
- E-4-3 Usine d'acide phosphorique (ICS)
- E-5-1 Avance au Stabex
- E-6-1 Construction de classes primaires
- I-1-1 Assistance Technique à la Planification Economique et Financière
- I-1-2 Assistance Technique au Secteur para-public
- I-1-3 Prêt/Crédit à l'ajustement structurel
- I-1-4 Micro-réalisations
- I-2-1 Piste de Production
- I-2-2 Projet routier IV
- I-2-3 Projet routier III
- I-2-5 Projet ferroviaire des ICS (Industries Chimiques du Sénégal)
- I-3-1 SODEFITEX Elevage au Sénégal Oriental
- U-1-1 Aide à la Planification du Développement (UNDTCD)
- U-1-2 Assistance à l'OMVG (Organisation pour la Mise en Valeur de Fleuve Gambie - (UNDTCD))
- U-1-3 Institut Africain de Développement économique et de Planification (IDEP) (UNDTCD)
- U-3-1 Céréaliculture (FAO)
- U-3-3 Recherche Agronomique dans le bassin du Fleuve Sénégal (FAO)
- U-6-3 Agrométéorologie (WMO)
- U-6-4 Réseau d'innovation éducative pour le développement en Afrique (UNESCO)

- U-8-1 SAED Formation (FAO)
- U-8-2 Assistance à la Direction de la Formation Permanente (ILO)
- そ-1-1 Développement rural intégré
- そ-3-1 Centre pour le Développement de l'Horticulture
- そ-4-1 Industries chimiques du Sénégal
- そ-4-2 Industries chimiques de Sénégal (ICS)
- そ-5-1 Achat produits pétroliers
- そ-7-1 Ecole Inter-Etats des Sciences et Médecine Vétérinaires
- そ-8-1 Assistance aux populations touchées par la sécheresse

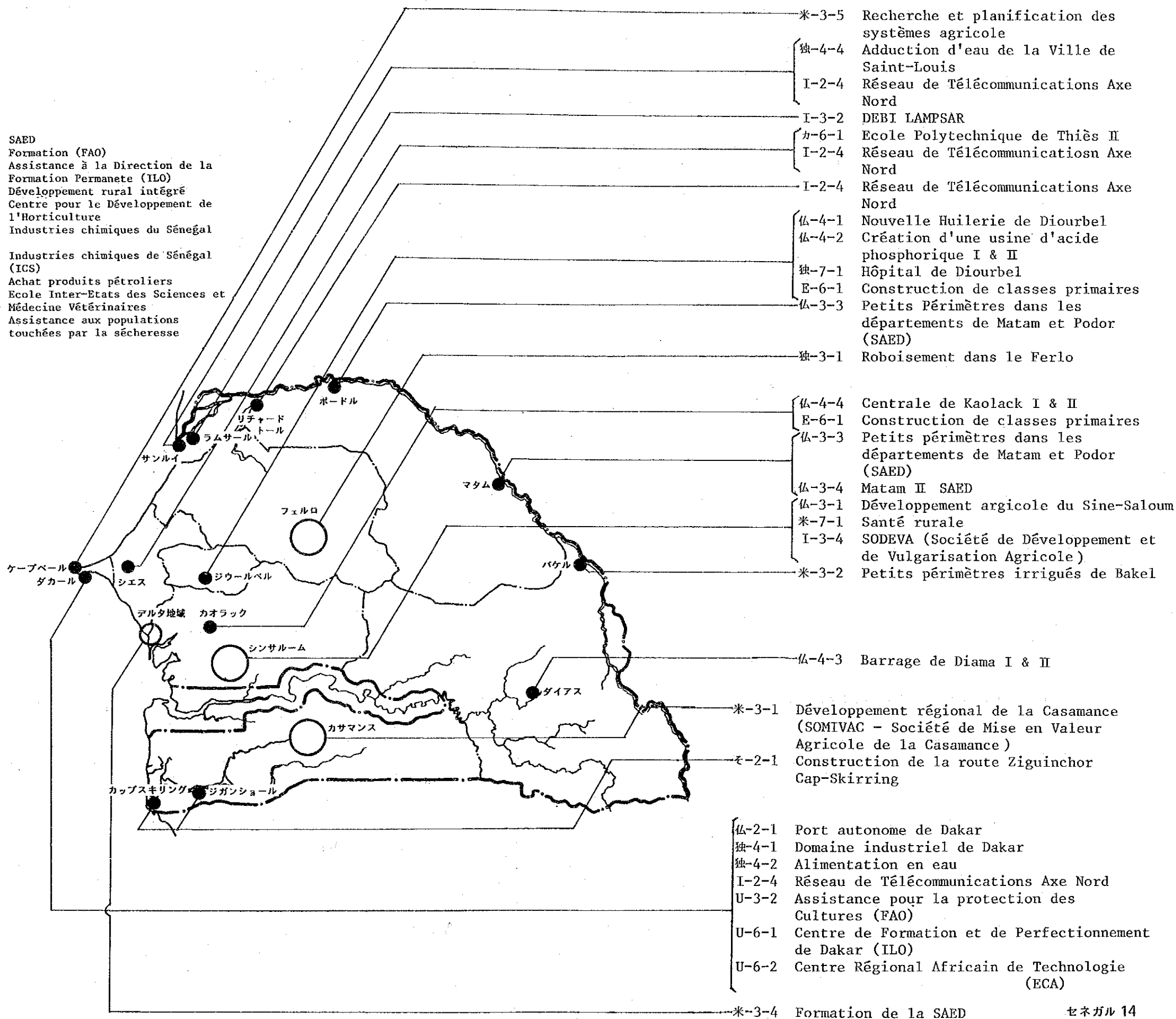
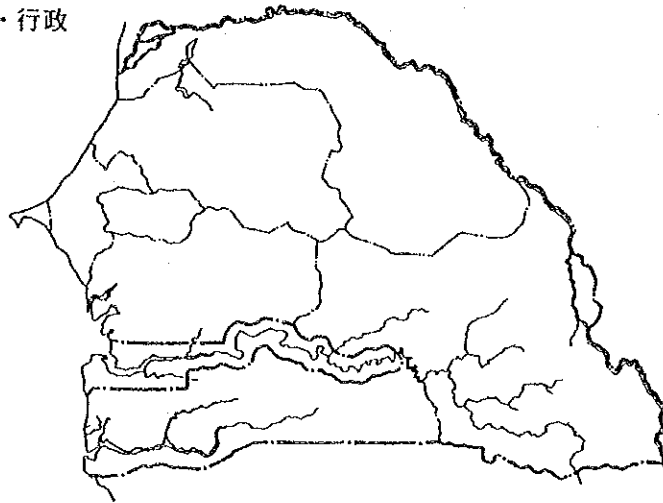


図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図
(1981~82年)

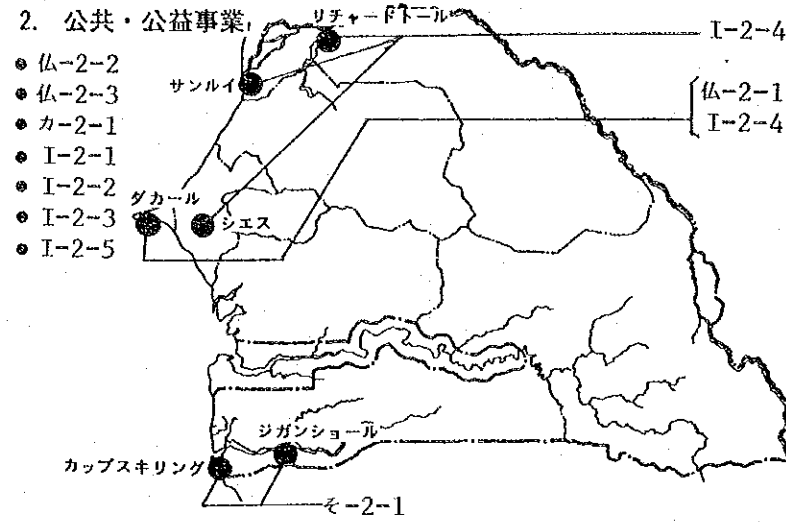
1. 計画・行政

- 仏-1-1
- I-1-1
- I-1-2
- I-1-3
- U-1-1
- U-1-2
- U-1-3



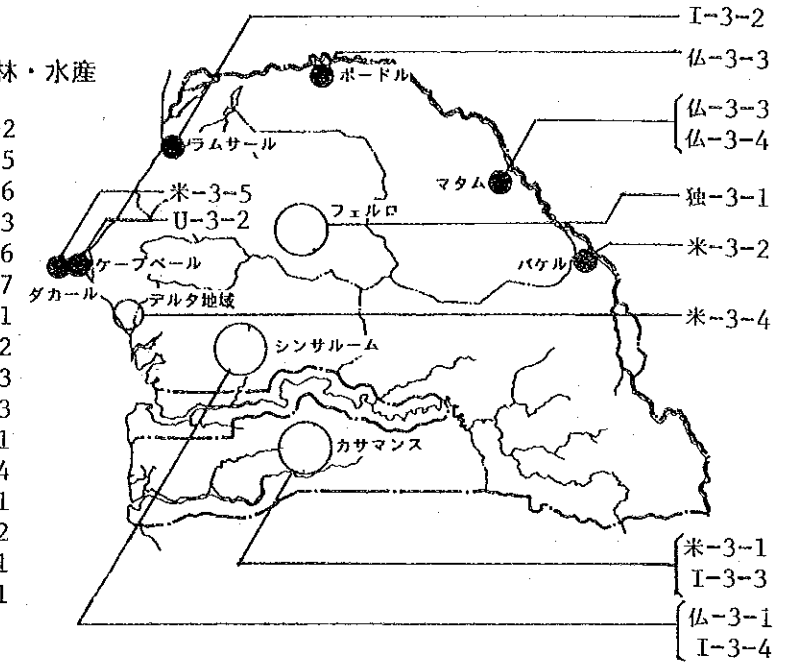
2. 公共・公益事業

- 仏-2-2
- 仏-2-3
- カ-2-1
- I-2-1
- I-2-2
- I-2-3
- I-2-5



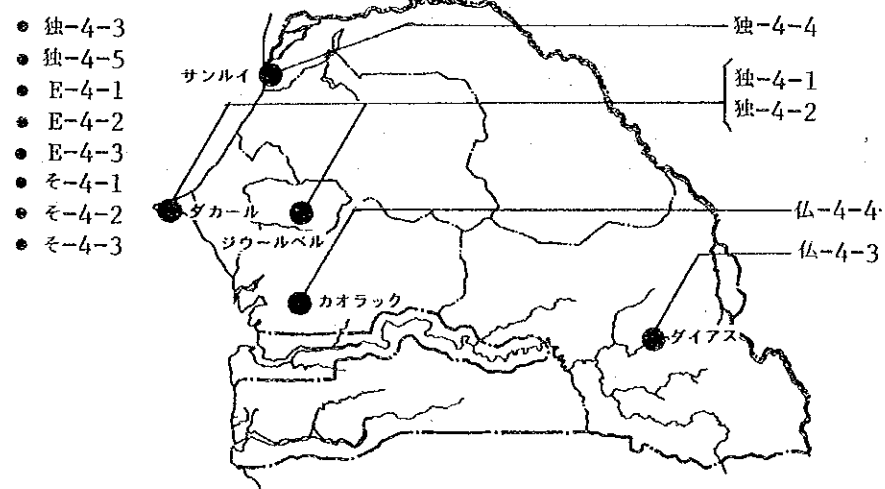
3. 農林・水産

- 仏-3-2
- 仏-3-5
- 仏-3-6
- 米-3-3
- 米-3-6
- 米-3-7
- カ-3-1
- 独-3-2
- 独-3-3
- U-3-3
- そ-3-1
- 独-3-4
- E-3-1
- E-3-2
- I-3-1
- U-3-1



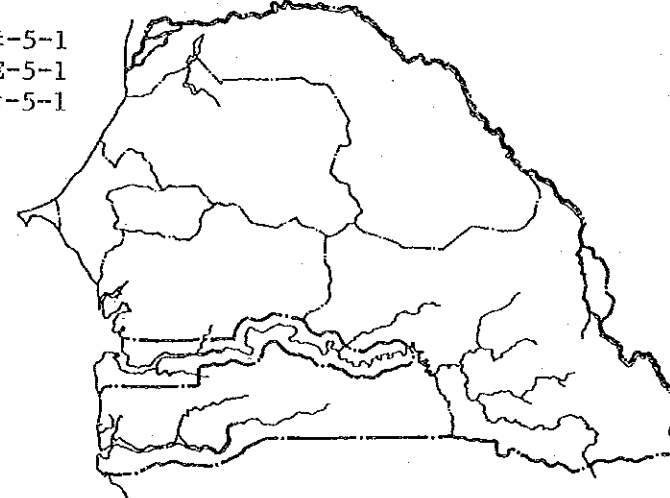
4. 鉱工業・エネルギー

- 独-4-3
- 独-4-5
- E-4-1
- E-4-2
- E-4-3
- そ-4-1
- そ-4-2
- そ-4-3



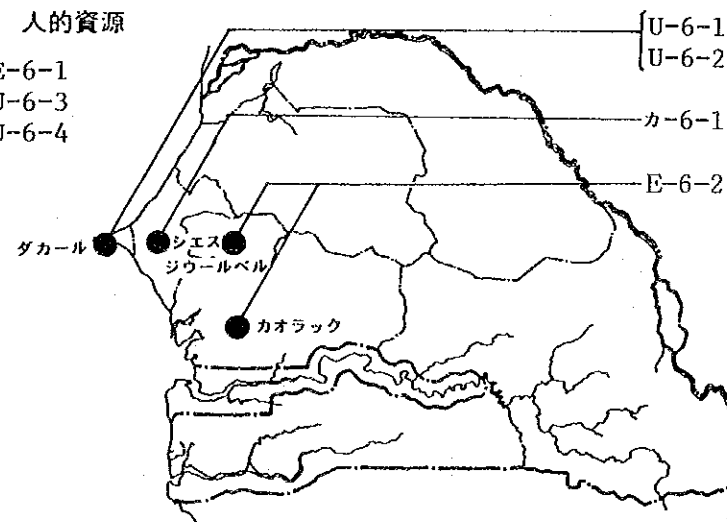
5. 商業・観光

- 米-5-1
- E-5-1
- そ-5-1



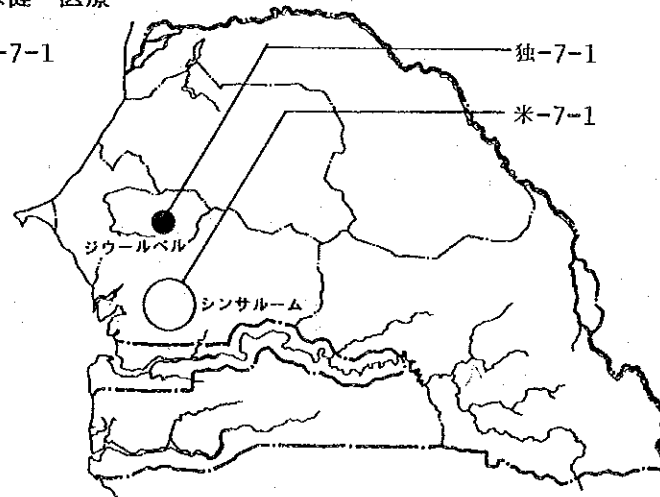
6. 人的資源

- E-6-1
- U-6-3
- U-6-4



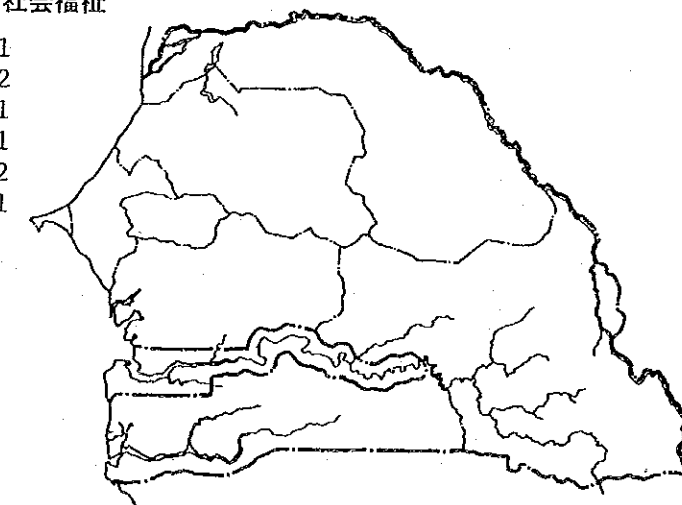
7. 保健・医療

- そ-7-1



8. 社会福祉

- 米-8-1
- 米-8-2
- 独-8-1
- U-8-1
- U-8-2
- そ-8-1



3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要 (表-6)

凡 例

1) 「番号」は 国名-分野-分野内での通し番号 の順で設定した。

2) 「供与金額」において ⑧-1981年 ⑨-プロジェクト期間総計
N/A-Not Available (不明)(いずれもコミットメント額)

3) 「備考」において ①-専門家派遣 ②-研修(研修員受入, フェローシップ研修) ③-機材供与
無償-無償資金協力 有償-有償資金協力
無償・有償の記述のないものは技術協力プロジェクトである。

フランス

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)	
				供与金額	備 考
仏-1-1	Assistance technique — 技術援助全般	—	1981-82	⑧ 26,295 ⑨ N/A	
仏-2-1	Port autonome de Dakar — 漁業埠頭の建設	Dakar	1977-81	⑧ N/A ⑨ 4,918	資金援助
仏-2-2	Regie des Chemins de Fer Sénégalais (RCFS) — セネガル鉄道公社にワゴン牽 引機材を供与	—	1979-82	⑧ N/A ⑨ 3,148	資金援助
仏-2-3	Programme investissement SOTRAC — SOTRAC 投資プログラムに 援助	—	1979-82	⑧ N/A ⑨ 4,820	資金援助
仏-3-1	Développement agricole du Sine-Saloum — Podor, Matam 州における 農業開発(60カ所)	Sine- Saloum (Podor, Matam州)	1974-83	⑧ N/A ⑨ 6,557	資金援助
仏-3-2	Aménagement des cuvettes de Tellel et grande Digue(SAED*) — デルタ地整地開発会社の地域 開発に援助	Tellel, grande Digue	1977-82	⑧ N/A ⑨ 5,574	資金援助
仏-3-3	Petits périmètres dans les départments de Matam et podor (SAED*) — Matam, Podor 州の地域開発	Matam, podor	1977-82	⑧ N/A ⑨ 2,295	資金援助
仏-3-4	Matam II SAED	Matam	1979-82	⑧ N/A ⑨ 4,344	資金援助
仏-3-5	Aménagement des cuvettes de Ndombo-Thiago — 盆地の開発	Ndombo- Thiago	1979-82	⑧ N/A ⑨ 3,043	資金援助
仏-3-6	Programme sectoriel "Semences d'arachides" I & II — 「落花生種子」プログラム	—	1981-82	⑧ N/A ⑨ 19,672	資金援助

* SAED - Société d'Aménagement et d'Exploitation des Terres de Delte

フランス (続き)

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
仏-4-1	Nouvelle Huilerie de Diourbel — 油工場に援助	Diourbel	1978-82	⑧) N/A		資金援助
					⑨) 6,557	
仏-4-2	Création d'une usine d'acide phosphorique I & II — 燐酸工場設立 I & II	—	1981-84	⑧) N/A		資金援助
					⑨) 19,672	
仏-4-3	Barrage de Diama I & II — ダム建設	Diama	1981-87	⑧) N/A		資金援助
					⑨) 15,200	
仏-4-4	Centrale de Kaolack I & II	Kaolack	1981-83	⑧) N/A		資金援助
					⑨) 5,901	

アメリカ

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
米-3-1	Développement régional de la Casamance (SOMIVAC - Société de Mise en Valeur Agricole de la Casamance) (セスマンス農業開発会社) — 農業生産量の増加およびかんがい農業の開発	Casamance	1978-85	⑧) 2,616		
					⑨) 23,700	
米-3-2	Petits périmètres irrigués de Bakel — かんがい開発	Bakel	1978-83	⑧) 1,434		
					⑨) 6,600	
米-3-3	Production de bois chauffé — 燃料用木材の生産に技術援助。植林など	Bandia	1978-83	⑧) 730		
					⑨) 3,100	
米-3-4	Formation de la SAED — デルタ整地開発会社のスタッフ研修	Delta地域	1978-83	⑧) 730		
					⑨) 4,300	
米-3-5	Recherche et planification des systèmes agricole — 農業システムの調査・企画	Cap-Vert	1981-85	⑧) 1,500		
					⑨) 5,000	
米-3-6	Projet de la SODESP pour le développement de l'élevage — 農村における畜産開発, 改善	—	1979-83	⑧) 3,500		
					⑨) 8,000	
米-3-7	Production Céréalière Phase II — 穀物生産の増加	—	1980-84	⑧) 1,682		
					⑨) 7,700	
米-5-1	Financement des projets de développement — 輸入米の販売。同販売収入を開発プロジェクトに充当	—	1980-82	⑧) 7,000		
					⑨) N/A	

アメリカ (続き)

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
米-7-1	Santé rurale —農村にモデル保健サービスシステムを確立	Sine-Saloum	1979-82	⑧1 N/A		
				⑨ 3,300		
米-8-1	Aide alimentaire —カトリック救援サービスに対して定期的食糧援助	—	1981- N/A	⑧1 7,238		
				⑨ N/A		
米-8-2	Aide alimentaire d'urgence et transport de médicaments —緊急食糧援助および薬品の運搬	—	—	⑧1 3,949		
				⑨ N/A		

カナダ

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
カー2-1	OMVS(Organisation pour la Mise en Valeur du Fleuve Sénégal) Etude —セネガル河開発機構の河川港、寄港地調査に援助	—	1980-83	⑧1 17		
				⑨ 5,845		
カー3-1	Pêche artisanale (CAPAS) —漁業に技術援助。施設、設備の供与	—	1978-85	⑧1 N/A		⑩
				⑨ 8,078		
カー6-1	Ecole polytechnique de Thiès II —理工科学校に技術および資金援助	Thiès	1980-85	⑧1 2,425		⑩ ⑪
				⑨ 19,393		

西ドイツ

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-3-1	Reboisement dans le Ferlo —植林のための調査にミッションを派遣	Ferlo	1973- N/A	⑧1 1,050		
				⑨ 6,510		
独-3-2	Projet mais —とうもろこしプランテーション調査	—	1978- N/A	⑧1 462		
				⑨ 2,646		
独-3-3	Reboisement de la zone Nord —北部地域の植林に技術援助	—	1981-83	⑧1 N/A		
				⑨ 2,730		
独-3-4	Abattoires régionaux —地方の屠殺場に援助	—	1979- N/A	⑧1 N/A		有償 金利2% 償還30年
				⑨ 3,550		
独-4-1	Domaine industriel de Dakar —工業開発	Dakar	1977- N/A	⑧1 504		
				⑨ 2,520		

西ドイツ (続き)

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-4-2	Alimentation en eau — 給水設備の設置	—	1981— N/A	⑧ 1,050		
				⑨ 3,780		
独-4-3	Remise en état de l'usine de traitement des eaux de Gnith — 水処理プラントの整備	Gnith	1980— N/A	⑧ N/A		有償 金利 2% 償還30年
				⑨ 1,302		
独-4-4	Adduction d'eau de la Ville de Saint-Louis — 給水設備に援助	Saint- Louis	1980— N/A	⑧ N/A		有償 金利 0.75% 償還50年
				⑨ 6,804		
独-4-5	Projet Energie Solaire — 太陽エネルギープロジェクトに関する調査	—	1980— N/A	⑧ 336		
				⑨ 8,820		
独-7-1	Hopital de Diourbel — 病院の機材メインテナンス ・管理に援助	Diourbel	1962— N/A	⑧ 252		⑤ 1名
				⑨ 7,224		
独-8-1	Projet stock de sécurité 物資安全ストックプロジェクト		1981	⑧ 1,050		
				⑨ 4,914		

E E C

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
E-3-1	Développement de la zone cotonnière — 綿花生産を現行の 44,000t から 66,000t に増産	—	1976— N/A	⑧ 112		
				⑨ 5,574		
E-3-2	Poursuite de l'operation arachide de bouche — 落花生栽培に技術援助	—	1976— N/A	⑧ 36		
				⑨ 3,836		
E-4-1	Extension usine SOCOCIM — SOCOCIM 工場の拡張	—	—	⑧ 10,000		有償 E/N 締結1981
				⑨ 10,000		
E-4-2	Formation du capital d'ICS — セネガル化学工場(ICS)の資 本形成	—	—	⑧ 6,296		有償 E/N 締結1981
				⑨ 6,296		
E-4-3	Usine d'acide phosphorique (ICS) — 磷酸工場に融資	—	—	⑧ —		有償 E/N 締結1980
				⑨ 12,700		
E-5-1	Avance au Stabex — スタベックスに融資	—	—	⑧ 18,000		有償 E/N 締結1981
				⑨ N/A		
E-6-1	Constuction de classes primaires — 初等クラスの設置	—	—	⑧ 195		有償 E/N 締結1975
				⑨ 1,836		

EEC (続き)

番号	プロジェクト名	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
E-6-2	Lycées de Kaolack et Diourbel — 中・高等学校の建設	Kaolack, Diourbel	—	⑧ 1,696	有償 E/N 締結1975	
				⑨ 7,461		
E-7-1	Ecole Inter-Etats de Sciences et Medecine Vétérinaire (EISMV) — 獣医科学学校に援助	—	—	⑧ 604	無償 E/N 締結1977	
				⑨ 4,094		
E-8-1	Aide alimentaire — 穀物, 牛乳, バターなど食糧 援助	—	1981	⑧ 4,262		
				⑨ 4,262		

IBRD・IDA

番号	プロジェクト名	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
I-1-1	Assistance Technique à la Planification Economique et Financière — 経済・社会開発プロジェクト を準備・評価・実施等をする 政府の能力を強化	—	1980-84	⑧ N/A	IDA	
				⑨ 5,300		
I-1-2	Assistance Technique au Secteur para-public — 半官半民企業および政府機関 の管理方法を強化	—	1978-82	⑧ 974	IBRD/IDA ④ 8名	
				⑨ 4,957		
I-1-3	Prêt/Crédit à l'ajustement structurel — 通貨, 借款, 公共投資, 農業 政策分野の立て直し計画で政 府を援助	—	1981	⑧ 60,000	IBRD/IDA	
				⑨ 60,000		
I-1-4	Micro-réalisations — 小規模プロジェクトに援助	—	1980-84	⑧ N/A	IDA 有償	
				⑨ 11,000		
I-2-1	Piste de Production — 道路1000kmの改修とメイン ティナンス。機材供与	—	1980-84	⑧ 944	IBRD 有償 金利 4.5 % 償還20年 据置 5年	
				⑨ 4,754		
I-2-2	Projet routier IV — 道路プロジェクト	—	1976-81	⑧ 3,623	IBRD 有償	
				⑨ 28,656		
I-2-3	Project routier III — 幹線道路240kmの強化。 設備供与	—	1976-81	⑧ 554	IBRD (非ODA) 有償 金利 8.5 % 償還20年	
				⑨ 10,820		
I-2-4	Réseau de Télécommunications Axe Nord — 8,300の電話線機材の供与	Dakar, Thies, Saint- Louis, Richard- Toll	1972-82	⑧ 144	IBRD (非ODA) 有償 金利 7.25 % 償還25年 据置 5年	
				⑨ 4,508		

I B R D ・ I D A (続 き)

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
I-2-5	Projet ferroviaire des ICS (Industries Chimiques du Sénégal) — セネガル化学工業 (ICS) の製品輸送鉄道を敷設	—	1981-84	⑧) N/A ⑨) 19,300		IBRD 資金援助
I-3-1	SODEFITEX Elevege au Sénégal Oriental — 畜産普及	Eastern area	1978-81	⑧) 1,131 ⑨) 3,098		IBRD
I-3-2	DEBI LAMPSAR — 水田 3,000 ha, トマト畑 340 ha の開拓	Debi, Lampsar	1978-82	⑧) 2,666 ⑨) 15,410		IBRD クウェイトとの共同資金
I-3-3	SOMIVAC (Société de Mise en Valeur Agricole de la Casamance - (セスマンス農業開発会社) Sédhiou II — 畜産改良および農産物増加に技術供与。7,400 家族加入の協同組合の強化	Casamance	1977-82	⑧) 941 ⑨) 4,764		IBRD
I-3-4	SODEVA (Société de Développement et de Vulgarisation Agricole - (農業開発普及会社) — 農業開発	Sine-Saloum	1979-81	⑧) 561 ⑨) 10,098		IBRD 経済協力中央基金との共同融資
I-4-1	Promotion industrielle — 産業育成。SOFISEDIT に対して借款を供与	—	1981-85	⑧) N/A ⑨) 9,000		IBRD/IDA
I-4-2	77-81 SAPCO Tourisme — 観光開発のため海岸の施設を整備	—	1977-81	⑧) 1,721 ⑨) 10,443		IBRD 資金援助
I-4-3	SOFISEDIT II (Société Financière Sénégalaise pour le développement de l'industrie et du Tourisme - (セネガル工業・観光開発融資会社) — SOFISEDIT へ借款	—	1977-81	⑧) 154 ⑨) 3,236		IBRD 資金援助
I-6-1	Enseignement technique (IUT, ENSET, Delafosse, Peytavin) — 技術教育に援助	—	1979-81	⑧) 377 ⑨) 4,430		IBRD 資金援助
I-6-2	Enseignement supérieur — 高等教育に援助	—	1979-81	⑧) 2,036 ⑨) 15,148		IBRD 資金援助
I-6-3	Enseignement supérieur — 高等教育に援助	—	1978-81	⑧) 1,393 ⑨) 10,820		IBRD 資金援助
I-6-4	Education III — 初等教育, 教育研究計画, 職業技術教育, 高等行政学校などに対する援助	—	1979-84	⑧) N/A ⑨) 22,000		IBRD/IDA 経済協力基金, EEC 活動特別基金と共同融資

UNDP

番 号	プロジェクト名	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
U-1-1	Aide à la Planification du Développement(UNDTCD) — 開発計画Ⅱに援助。企画センターの強化、長期開発政策の決定	—	1978—82	⑧1 183	⑧	
				⑨ 1,043		
U-1-2	Assistance à l'OMVG(Organisation pour la Mise en Valeur du Fleuve Gambie- (ガンビア河開発機構)(UNDTCD) — OMVG の地域開発プロジェクト	—	1978—82	⑧1 380		
				⑨ 1,066		
U-1-3	Institut Africain de Développement économique et de Planification (IDEP)(UNDTCD) — アフリカ経済開発計画	—	1978—82	⑧1 800		
				⑨ 4,005		
U-3-1	Céréaliculture (FAO) — 基礎種子センターの開発。穀物、土壌調査に援助	—	1977—83	⑧1 69	⑨ 3名	
				⑨ 776		
U-3-2	Assistance pour la protection des Cultures (FAO) — 害鳥対策など耕作保護に援助	Dakar	1978—82	⑧1 432		OCLALAV (バッタ・害鳥対策共同機関)
				⑨ 1,238		⑨
U-3-3	Recherche Agronomique dans le bassin du Fleuve Sénégal (FAO) — セネガル河流域における農業・畜産開発	—	1978—84	⑧1 596	⑨ 5名	
				⑨ 2,444		
U-6-1	Centre de Formation et de Perfectionnement de Dakar (ILO) — ダカール訓練センターに援助。技術・教育・建築・機械・エレクトロニクスなどの部門	Dakar	1978—82	⑧1 254	⑨	
				⑨ 998		
U-6-2	Centre Régional Africain de Technologie (アフリカ地域技術センター) (ECA*) — ダカールに重点をおいた、地域プロジェクト	Dakar	1977—81	⑧1 280		
				⑨ 654		
U-6-3	Agrométéorologie (WMO) — 農業気象	—	1977—82	⑧1 189	⑨ 2名	
				⑨ 893	⑨	
U-6-4	Réseau d'innovation éducative pour le développement en Afrique (UNESCO) — アフリカ開発の一環としての教育網の改革。制度に対する支援	—	1978—82	⑧1 384	⑨	
				⑨ 1,119		

* ECA — Economie Commission for Africa

UNDP (続き)

番号	プロジェクト名	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
U-8-1	SAED (デルタ地整地開拓会社) Formation(FAO) ---SAEDの組織化	—	1979-81	⑧1	154	⑧
				⑨	409	
U-8-2	Assistance à la Direction de la Formation Permanente (ILO) ---研修部門の援助。奨学金、セ ミナーなど供与	—	1978-82	⑧1	139	⑧
				⑨	636	

その他

番号	プロジェクト名	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
そ-1-1	Développement rural intégré ---農村総合開発	—	1979- N/A	⑧1	N/A	マレーシア 資金協力
				⑨	13,600	
そ-2-1	Construction de la route Ziguinchor Cap-Skiring ---71kmに及ぶアスファルト道路 の整備	Ziguinchor Cap- Skiring	1980-82	⑧1	N/A	Af DB 資金協力
				⑨	7,374	
そ-3-1	Centre pour le Développement de l'Horticulture ---園芸開発センター	—	1979-85	⑧1	1,716	FAO (ベルギー) 資金協力
				⑨	9,691	⑧
そ-4-1	Industries chimiques du Sénégal (セネガル化学工業- ICS) ---ICSへの借款。燐酸肥料工場 の建設	Taiba	1980- N/A	⑧1	N/A	ABEDA* (非ODA) 有償 ⑧ 金利8% 償還15年 据置3年
				⑨	10,000	
そ-4-2	Industries chimiques de Sénégal(ICS) ---ICSへの借款	—	1981- N/A	⑧1	N/A	IDB 有償
				⑨	213,000	
そ-4-3	Exécution de forages ---装備ボーリング20カ所、井戸 ボーリング10カ所、掘削井30 カ所の各々実施	—	1978-82	⑧1	2,007	中国 資金協力
				⑨	7,639	
そ-5-1	Achat produits pétroliers ---石油製品購入に援助	—	1980- N/A	⑧1	N/A	IDB 有償
				⑨	25,030	
そ-7-1	Ecole Inter-Etats des Sciences et Médecine Vétérinaires ---科学、獣医学校に援助。教師 3名を派遣	—	1978-83	⑧1	N/A	ベルギー
				⑨	6,525	
そ-8-1	Assistance aux populations touchées par la sécheresse ---干害地の被災民に対する食糧 供給	—	1981	⑧1	N/A	WFP
				⑨	7,311	

* ABEDA --- Arab Bank for Economic Development in Africa

4 我が国の経済・技術協力実施状況

4-1 我が国の対セネガル援助の特徴

セネガルは、マリ連邦が崩壊後、1960年8月、改めて共和国として独立したが、我が国はその時点で、同国を承認した。両国は、79年4月にサンゴール大統領が来日、同年7月園田外相（当時）がセネガルを訪問しているが、当時は比較的交流が少なく、我が国への認識も薄かった。近年になって、我が国の援助に対する期待が高まりつつある。

我が国とセネガルとの貿易は、両国間の関係を反映してあまり盛んとはいえないが、安定して推移しており、輸出入額は、74～77年、14～17百万ドル台、78～81年が20～25百万ドル台となっている。我が国への輸出は漸増傾向にあり、10～15百万ドル台、一方輸入は、79年に14.6百万ドルであったが、近年8～9百万ドルで推移している。輸出品目は、セネガルからは、リン鉱石、魚介類、我が国からは鋼材、自動車等が主である。

我が国のセネガルに対する経済・技術援助は、74年までは0.1百万ドル以下と極めて少なかったが、75年に2百万ドルを供与し、76年は、0.2百万ドルに落ちたものの、以後増加し81年に8.2百万ドルでピークに達した（82年は5.9百万ドルとなっている）。しかし、我が国のODAは、近年でもセネガルに対するODA総額の1～2%程度のシェアにすぎず、欧米諸国の水準よりはるかに低く、また、我が国のODA供与額に占めるシェアも0.1～0.2%で少ない。

セネガルに対する我が国の援助は、贈与によるものが大部分で、近年では無償資金協力が主となっている。有償案件としては、79年にルガ〜ダーラ間道路建設計画（2,500百万円）が実施されている。

図-12 セネガルにおける我が国ODAのシェア

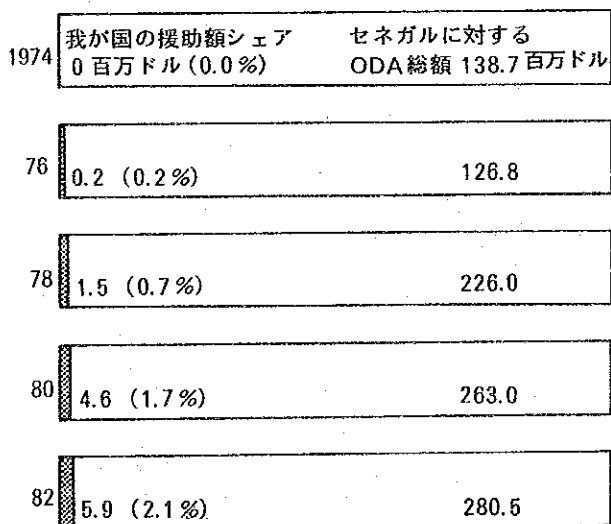
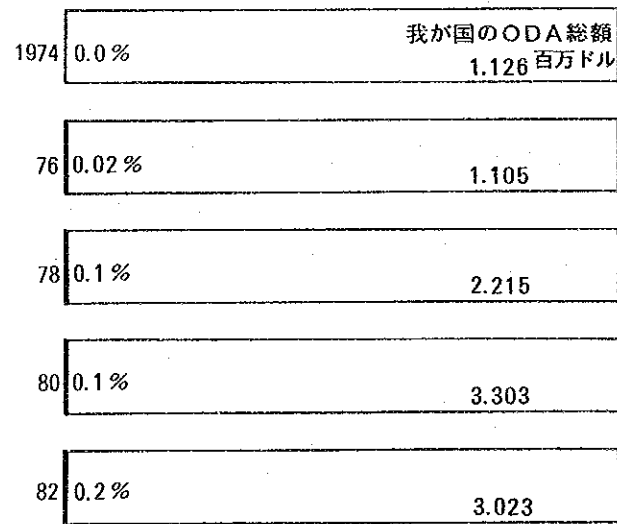


図-13 我が国のODA総額に占めるセネガルのシェア



出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES
OECD / 1978, 82, 84

我が国の援助分野では、S.56~58年の間に、公共・公益事業分野（2）で2件、農林・水産分野（3）で4件、人的資源分野（2）で2件の他、鉱工業・エネルギー（4）保健医療（7）、社会福祉（8）の各分野で、それぞれ1件となっている。主な案件は、地方水道施設整備計画、水産物冷蔵計画に対する開発調査、一般無償援助、人的資源分野で、職業訓練センター建設計画の一般無償援助、技術協力などがあげられる。

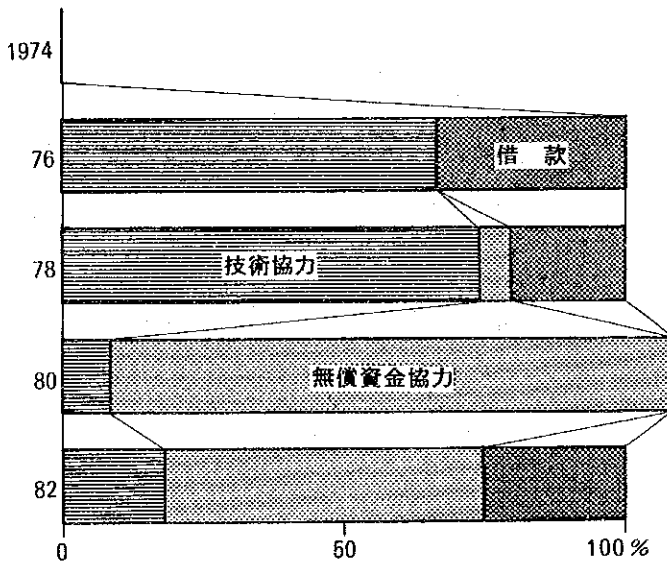
表一七 我が国のセネガルに対する経済技術協力実績

	～昭和56年度 (累積)	昭和57年度	58年度 (12月末実績)
● 技術協力			
一 経 費	584 百万円	208 百万円	244 百万円 (計画)
一 研修員受入	29 人	11 人	9 人
一 専門家派遣	10 人	3 人	7 人
一 単独機材供与	30 百万円	14 百万円	24 百万円 (計画)
一 青年海外協力隊	11 人	41 人	32 人 (計画45人)
一 開発調査	7 件	1 件	1 件 ()
一 海外開発計画調査	1 件	1 件	1 件 ()
一 プロジェクト方式技術協力	1 件	1 件	1 件 ()
● 無償資金協力	4,153 百万円	2,014 百万円 (4件)	—
● 有償資金協力	2,500 百万円	—	—

(出典：JICA ファクトシート)

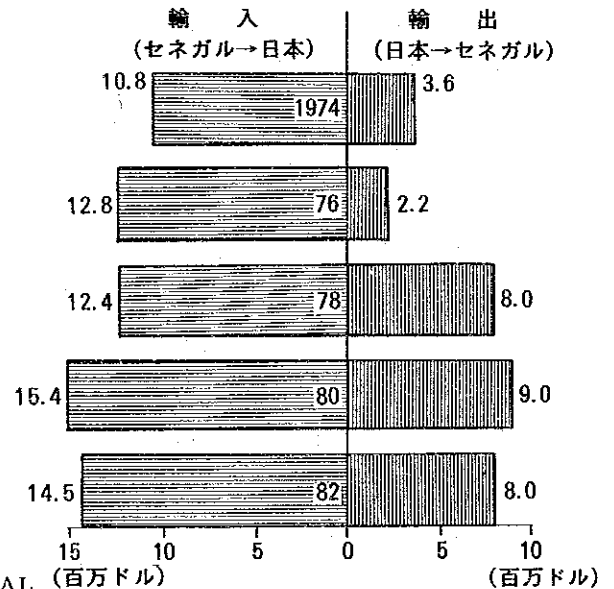
注) 無償資金協力・有償資金協力とも交換公文ベースである。

図一四 我が国の対セネガルODAにおける形態別配分の推移



出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES

図一五 我が国とセネガルの貿易額推移 (単位：百万ドル)



OECD/1978, 82, 84 (出典：通商白書 昭和58年版)

図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図
(1981～83年)

凡例

- 開発調査
- プロジェクト方式技術協力
- 無償資金協力
- 有償資金協力

注) 各プロジェクトの番号は後述のプロジェクトリストに対応している。

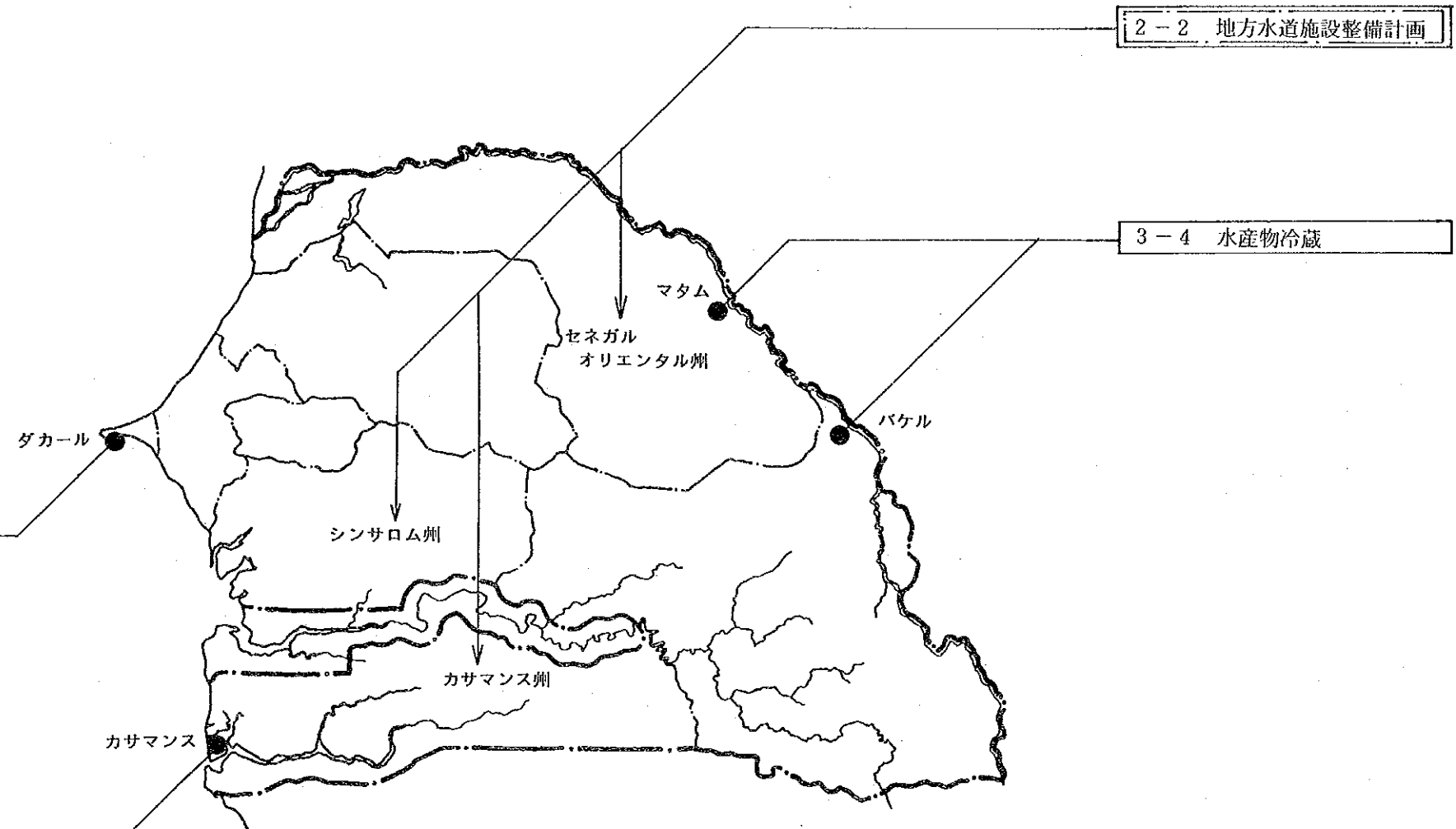
● 広域プロジェクト等

- 3-2 食糧増産援助
- 4-1 アフリカ・中近東諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査
- 8-1 KR食糧援助

● ダカール

- 2-1 森林防火対策計画
- 3-1 漁業海洋調査船建造計画
- 6-1 高等科学教育研究省電子顕微鏡
- 6-2 職業訓練センター建設計画
- 7-1 医療機能強化計画

- 3-3 食糧増産援助



4-2 分野別経済・技術協力実施状況（表-8）

凡 例 1) で案件の実施年度を示し方式を記入した。期間が長期に渡り53～58年度を越える場合 又は で案件の継続を示す。

2) 実績欄に示す金額は、各年度毎の実績額とし56, 57, 58年度の実績を集計をした。55年度以前の金額については、() 内に単年度又は累計の金額として示した。

開 調 開発調査
 海 開 海外開発計画調査
 資 開 資源開発基礎調査

プロ技協 プロジェクト方式技術協力
 ←→ で機材供与を示し53～58年度を越え継続する場合 ←→ で示した。又、各年度の派遣専門家の人数を() 内に入れた。

無 償 無償資金協力
 (一 般) 一般無償援助
 (水 産) 水産関係援助
 (文 化) 文化関係援助
 (災 害) 災害関係援助
 (食 糧) 食糧援助
 (食 増) 食糧増産援助

有 償 有償資金協力（政府直接借款）
 ※有償条件の記述は以下の順である。

（ 金 利 償還期間（据置期間）
 調達条件
 外貨分所要資金
 内貨分所要資金 ） 総所要資金

E / N 交換公文

1. 計 画・行 政

2. 公 共・公 益 事 業

	プロジェクト名	サイト	年 度					実 績	(千円)
			53	54	55	56	57		
2-1	森林防火対策計画 ——放水車およびトラックの供与	ダカール						<input type="text"/> 無償 E/N 58.7.15	370,000
2-2	地方水道施設整備計画 ——生活用水の安定供給確保のため、既存深井戸を活用する目的の揚水施設	シンサロメ州 カサマンス州 セネガル オリエンタル州					<input type="text"/> 開調 (一般) <input type="text"/> 無償 E/N 58.4.1		35,767 650,000 685,767

3. 農 林・水 産

3-1	漁業海洋調査船建造計画 ——漁業資源量、海洋調査が可能な漁業海洋調査船の建造	ダカール						<input type="text"/> 開調	19,882
3-2	食糧増産援助 ——農薬、農業機械				(食増)	<input type="text"/> 無償 E/N 57.12.24			200,000

プロジェクト名	サイト	年 度						実績	(千円)
		53	54	55	56	57	58		
3-3 食糧増産援助 — 農業機械導入による稲作振興	カサマンス				E/N	(食増) 58	無償 10.13	300,000	
3-4 水産物冷蔵 — 内陸部への水産物流通改善に必要な冷蔵流通施設の供与	マタム バケル			(一般)	開調 無償	E/N	56.2.17	20,630 600,000 620,630	

4. 鉱工業・エネルギー

4-1 アフリカ中近東諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査 — アフリカ、中近東における鉱工業関係の開発プロジェクトの選定確認。チュニジア、アルジェリア、セネガル、象牙海岸を対象						海開		8,928
---	--	--	--	--	--	----	--	-------

5. 商業・観光

6. 人的資源

6-1 高等科学教育研究省電子顕微鏡 — 西アフリカ有数の総合大学である国立ダカール大学の理学部に対し、電子顕微鏡一台の供与	ダカール			(文化)	無償	E/N	57.2.17	30,000
6-2 職業訓練センター建設計画 — 農水産業の振興と近代工業の育成のため、実践的中級技術者を養成する訓練センターを建設 56年プロ技協事前調査実施	ダカール				開調 (一般) 無償 (一般) 無償 プロ技協	E/N	57.8.26 58.7.15	42,601 1,070,000 930,000 8,670 2,051,271

7. 保健医療

7-1 医療機能強化計画 — ダカールにおける病院設備改善および地方医療センター活動強化のための救急車等の車両、機材の供与	ダカール				(一般) 無償 E/N	57.5.28		370,000
--	------	--	--	--	----------------	---------	--	---------

8. 社会福祉

プロジェクト名	サイト	年 度						実績	(千円)
		53	54	55	56	57	58		
8-1 KR食糧援助 ——日本米, 米産小麦				(食糧)	無償	E/N	56.11. 10	24	377,000
				(食糧)	無償	E/N	57.12.		374,000
					(食糧)	無償			498,000
						E/N	58.10. 13		1,249,000

9. その他

図表リスト

- 図-1 セネガルの概要図／2
- 図-2 資金調達計画／4
- 図-3 援助主体別ODA推移／6
- 図-4 援助形態別ODA推移／6
- 図-5 主要援助国・国際機関別ODA推移／6
- 図-6 主要援助国・国際機関による対セネガル政府開発援助（ODA）の実績／7
- 図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴／9
- 図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴／10
- 図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図／13
- 図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図／14
- 図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図／15
- 図-12 セネガルにおける我が国のODAのシェア／24
- 図-13 我が国のODA総額に占めるセネガルのシェア／24
- 図-14 我が国の対セネガルODAにおける形態別配分の推移／25
- 図-15 我が国とセネガルの貿易額推移／25
- 図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図／26

- 表-1 GDPの成長率とその構成／3
- 表-2(1) 投資スケジュール／4
- 表-2(2) 部門別投資額／4
- 表-3 1981年対セネガル政府開発援助（ODA）実績総括表／8
- 表-4 1982年対セネガル政府開発援助（ODA）実績総括表／8
- 表-5 主要援助国・国際機関別援助の特徴／11・12
- 表-6 主要経済・技術協力プロジェクト概要／16
- 表-7 我が国の経済・技術協力実績表／25
- 表-8 我が国の経済・技術協力プロジェクトの概要／27

参 考 資 料

1. Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries, 1978/82/84; OECD
2. Rapport Annuel sur l'Assistance au Developpement 1981, Republique du Senegal; UNDP, Dakar
3. 世界開発報告, 1983; 世界銀行
4. わが外交の近況, 1983; 外務省
5. アフリカ諸国要覧, 1983年10月; 外務省
6. 国際協力ハンドブック, 1983; 国際協力研究会
7. 国際協力事業団年報, 1977～1983; 国際協力事業団
8. 経済協力の現況と問題点, 1982; 通産省
9. 無償資金協力実績要覧; (財)国際協力推進会 (1984, 2月)
10. 案件概要(1) 政府等貸付, 昭和58年7月末現在; 海外経済協力基金
11. アフリカのくらし—セネガル—; (財)国際協力サービスセンター

◎分野区分対照表

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
1.	計画・行政 開発計画 行政	02 - General development issues, policy and planning Development strategies policies and planning General statistics Public administration
2.	公共・公益事業 公益事業 運輸交通 社会基盤 通信・放送	06 - Transport and Communications Policy and planning Air transport Land transport Water transport and shipping Postal services Telecommunications 09 - Human settlements Settlements planning Housing and infrastructure
3.	農林・水産 農業 畜産 林業 水産	04 - Agriculture, forestry and fisheries Agricultural development support service Crops Livestock Fisheries Forestry
4.	鉱工業 工業 鉱業 エネルギー	03 - Natural resources Cartography Land and water Mineral resources Biological resources Energy 05 - Industry Industrial development support services Manufacturing industries Tourism and related services Other service industries
5.	商業・観光 商業・貿易 観光	07 - International trade and development finance Global trade policies Trade in commodities Trade in manufactures Trade promotion and trade in services Development finance and monetary problems

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
6.	人的資源 人的資源 科学・文化	11 - Education Educational policy and planning Educational facilities and technology Educational systems Non-formal education 15 - Culture Cultural preservations and development Protection of authors and performers Communication and mass media 16 - Science and technology Promotion of science Development and transfer of technology Oceanography Meteorology
7.	保健・医療	08 - Population Population dynamics Family planning 10 - Health Comprehensive health services Disease prevention and control Environmental health
8.	社会福祉	12 - Employment Employment promotion and planning Skills development Conditions of employment Industrial relations 13 - Humanitarian aid and relief Protection of and assistance to refugees and displaced persons Disaster, relief preparedness and prevention Special humanitarian operation 14 - Social conditions and equity Human rights Social sciences Welfare and social security Advancement of women Disadvantaged groups Prevention of crime and drug abuse
9.	その他	01 - Political affairs Political and security activities Special missions Disarmament General international law Trusteeship, decolonization and apartheid

○セネガル共和国

JICA